



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(平成21年6月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	平成21年3月	平成21年6月	前回調査比
茨城県	18.5	<b>34.8</b>	+16.3
県北地域	16.2	32.6	+16.4
県央地域	20.1	30.3	+10.2
鹿行地域	14.0	33.2	+19.2
県南地域	23.2	42.1	+18.9
県西地域	19.1	35.8	+16.7

## 《景気の先行き判断DI》

	平成21年3月	平成21年6月	前回調査比
茨城県	28.2	<b>43.3</b>	+15.1
県北地域	24.6	41.5	+16.9
県央地域	25.9	41.2	+15.3
鹿行地域	28.1	42.7	+14.6
県南地域	30.5	44.7	+14.2
県西地域	31.8	46.1	+14.3

平成21年7月

茨城県企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	7
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

# 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成21年4月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

### (2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

#### 【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

## 3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成21年6月調査の調査期間は平成21年6月1日から平成21年6月30日である。

## 5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

### 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$  となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

# 調査結果の概要

## 1 全県の動向

### (1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは34.8となった。「悪くなっている」の回答構成比が大幅に減少し、「変わらない」の構成比が大幅に増加したため、3月調査分より16.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50は8期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

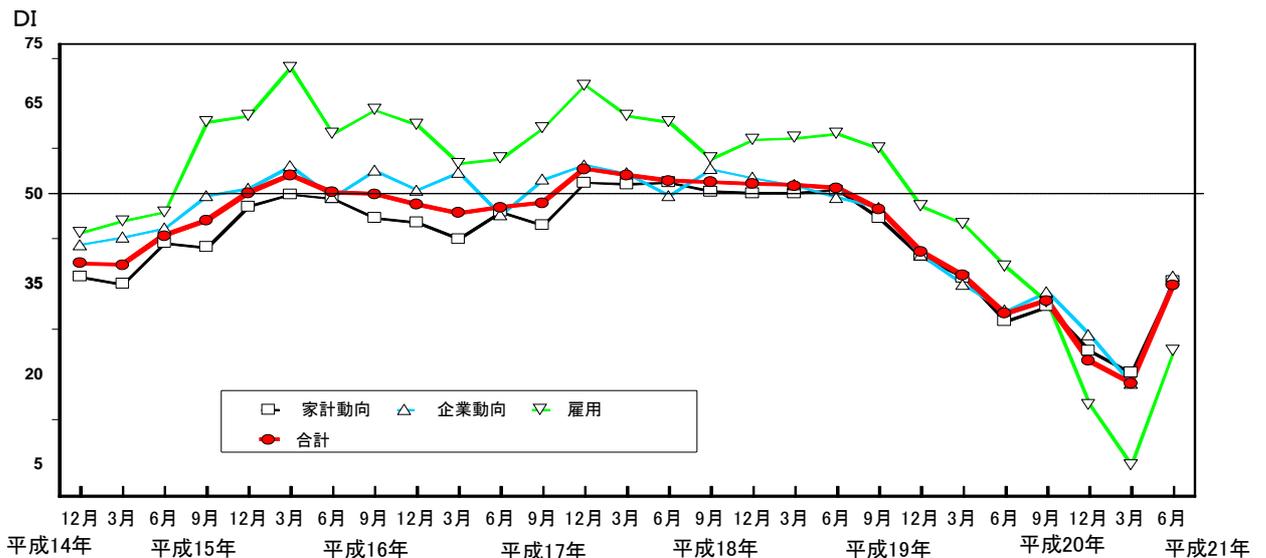
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
<b>合計</b>		<b>30.2</b>	<b>32.2</b>	<b>22.3</b>	<b>18.5</b>	<b>34.8</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>28.9</b>	<b>31.4</b>	<b>24.0</b>	<b>20.4</b>	<b>35.6</b>
小売関連		27.7	28.5	19.9	17.5	38.5
飲食関連		26.2	30.0	25.0	26.4	31.6
サービス関連		29.7	34.5	28.4	21.3	33.8
住宅関連		38.9	30.6	16.7	22.2	36.1
<b>企業動向関連</b>		<b>30.7</b>	<b>33.7</b>	<b>20.6</b>	<b>18.5</b>	<b>36.3</b>
農林水産業		43.8	40.6	40.6	21.9	37.5
製造業		30.2	35.6	17.6	18.5	35.6
非製造業		28.2	29.0	20.2	17.7	37.1
<b>雇用関連</b>		<b>38.0</b>	<b>32.0</b>	<b>15.0</b>	<b>5.0</b>	<b>24.0</b>

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成20年 6月	0.7%	4.4%	30.6%	43.5%	20.7%
平成20年 9月	0.7%	7.2%	29.3%	45.5%	17.2%
平成20年 12月	0.7%	5.1%	16.7%	37.5%	39.9%
平成21年 3月	0.4%	1.8%	15.1%	37.0%	45.8%
平成21年 6月	1.7%	8.7%	36.3%	33.6%	19.7%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは43.3となった。「やや悪くなっている」及び「悪くなっている」の回答構成比が大幅に減少し、「やや良くなっている」及び「変わらない」の回答構成比が大幅に増加したため、3月調査分より15.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

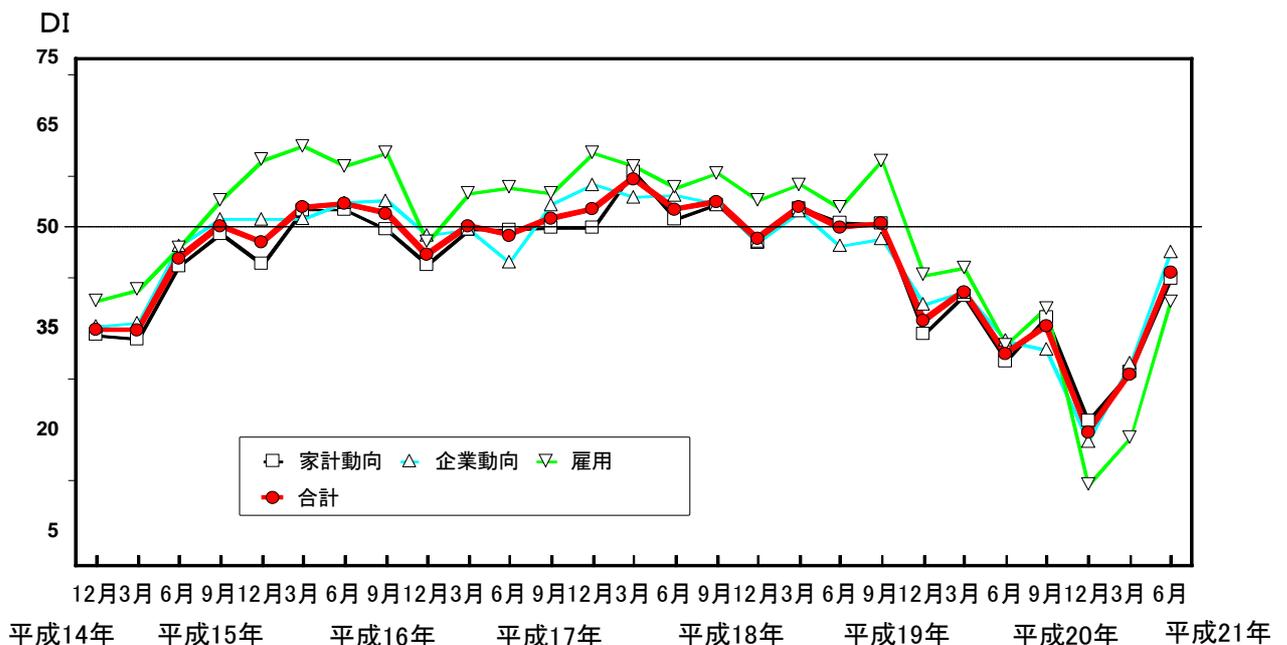
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
<b>合計</b>		<b>31.3</b>	<b>35.4</b>	<b>19.7</b>	<b>28.2</b>	<b>43.3</b>
<b>家計動向関連</b>		<b>30.2</b>	<b>36.7</b>	<b>21.4</b>	<b>28.6</b>	<b>42.4</b>
小売関連		26.7	33.5	19.5	28.0	44.4
飲食関連		28.6	32.5	21.1	36.1	43.4
サービス関連		32.2	40.5	22.2	26.9	40.3
住宅関連		44.4	38.9	30.6	33.3	41.7
<b>企業動向関連</b>		<b>33.3</b>	<b>32.0</b>	<b>18.3</b>	<b>30.0</b>	<b>46.4</b>
農林水産業		25.0	46.9	28.1	53.1	59.4
製造業		33.9	30.3	18.1	32.1	43.9
非製造業		34.7	30.6	16.1	21.0	46.8
<b>雇用関連</b>		<b>32.6</b>	<b>38.0</b>	<b>12.0</b>	<b>19.0</b>	<b>39.0</b>

表1 - 4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成20年 6月	1.4%	5.4%	30.3%	42.9%	20.1%
平成20年 9月	1.4%	7.2%	39.3%	35.9%	16.2%
平成20年 12月	0.0%	2.4%	19.5%	32.8%	45.4%
平成21年 3月	1.1%	6.3%	29.2%	31.0%	32.4%
平成21年 6月	1.4%	15.6%	49.1%	22.5%	11.4%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1) 景気の現状判断DI

#### 県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは32.6となった。3月調査分より16.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		32.5	33.5	23.7	16.2	32.6
家計動向関連		32.6	30.4	20.9	17.1	31.9
企業動向関連		30.9	38.2	29.4	14.7	36.1
雇用関連		37.5	40.0	25.0	15.0	25.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	0.0%	5.3%	36.8%	40.4%	17.5%
平成20年 9月	1.7%	3.4%	39.0%	39.0%	16.9%
平成20年 12月	1.7%	8.5%	16.9%	28.8%	44.1%
平成21年 3月	0.0%	0.0%	14.0%	36.8%	49.1%
平成21年 6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%

#### 県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは30.3となった。3月調査分より10.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連及び企業動向関連のDIは3月調査分を上回ったが、雇用関連のDIは3月調査分を下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		30.5	34.6	23.7	20.1	30.3
家計動向関連		28.9	35.9	28.3	24.3	36.1
企業動向関連		29.7	32.8	15.6	14.1	25.0
雇用関連		45.0	30.0	15.0	10.0	5.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	0.0%	3.4%	28.8%	54.2%	13.6%
平成20年 9月	1.7%	8.3%	26.7%	53.3%	10.0%
平成20年 12月	0.0%	6.8%	16.9%	40.7%	35.6%
平成21年 3月	0.0%	1.8%	17.9%	39.3%	41.1%
平成21年 6月	0.0%	5.3%	35.1%	35.1%	24.6%

### 鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは33.2となった。3月調査分より19.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		25.4	28.6	20.3	14.0	33.2
	家計動向関連	22.3	26.5	22.9	17.4	31.8
	企業動向関連	29.4	32.8	17.6	10.9	37.5
	雇用関連	35.0	30.0	10.0	0.0	30.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	0.0%	1.7%	28.8%	39.0%	30.5%
平成20年 9月	0.0%	5.5%	25.5%	47.3%	21.8%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	19.0%	37.9%	41.4%
平成21年 3月	0.0%	1.8%	8.8%	33.3%	56.1%
平成21年 6月	0.0%	8.6%	34.5%	37.9%	19.0%

### 県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.1となった。3月調査分より18.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		34.2	32.1	24.2	23.2	42.1
	家計動向関連	37.2	29.5	26.4	25.0	42.4
	企業動向関連	25.0	37.5	23.6	26.4	42.2
	雇用関連	45.0	30.0	10.0	0.0	40.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.7%	8.3%	33.3%	38.3%	18.3%
平成20年 9月	0.0%	8.9%	25.0%	51.8%	14.3%
平成20年 12月	1.7%	5.1%	13.6%	47.5%	32.2%
平成21年 3月	1.8%	0.0%	23.6%	38.2%	36.4%
平成21年 6月	1.8%	12.3%	47.4%	29.8%	8.8%

### 県西地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは35.8となった。3月調査分より16.7ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

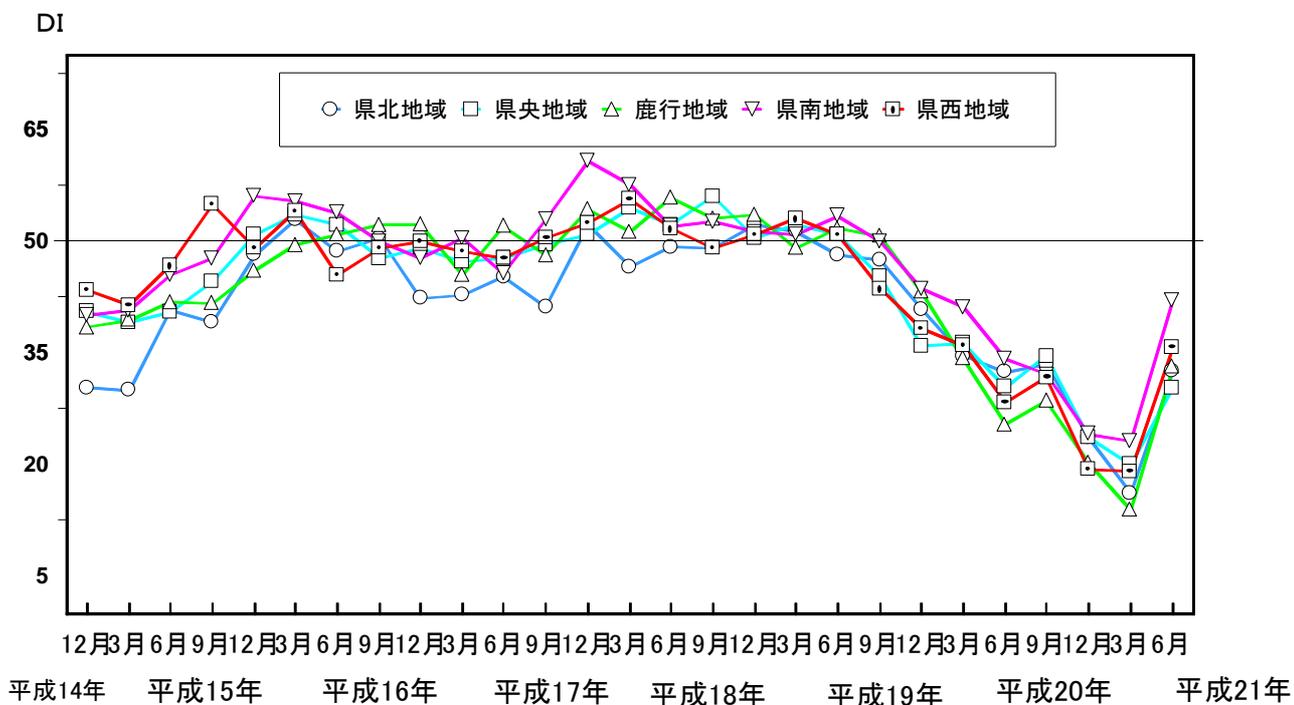
表2 - 9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		28.4	31.7	19.4	19.1	35.8
家計動向関連		23.6	34.0	21.4	18.8	35.7
企業動向関連		38.2	27.6	16.7	25.0	40.3
雇用関連		25.0	30.0	15.0	0.0	20.0

表2 - 10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.7%	3.4%	25.4%	45.8%	23.7%
平成20年 9月	0.0%	10.0%	30.0%	36.7%	23.3%
平成20年12月	0.0%	3.4%	17.2%	32.8%	46.6%
平成21年 3月	0.0%	5.1%	11.9%	37.3%	45.8%
平成21年 6月	5.2%	8.6%	32.8%	31.0%	22.4%

図2 - 1 地域別現状判断DIの推移



(2) 景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは41.5となった。3月調査分より16.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連のDIが3月調査分を上回り、雇用関連のDIは横ばいとなった。

表2 - 11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		34.6	39.4	15.3	24.6	41.5
	家計動向関連	31.9	40.5	14.2	26.4	38.2
	企業動向関連	39.7	35.3	17.6	20.6	52.8
	雇用関連	37.5	45.0	15.0	25.0	25.0

表2 - 12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.8%	5.3%	42.1%	31.6%	19.3%
平成20年 9月	3.4%	6.8%	45.8%	32.2%	11.9%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	15.3%	25.4%	57.6%
平成21年 3月	3.5%	3.5%	24.6%	24.6%	43.9%
平成21年 6月	1.7%	15.3%	47.5%	18.6%	16.9%

### 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは41.2となった。3月調査分より15.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を8期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2 - 13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		30.9	37.5	18.2	25.9	41.2
	家計動向関連	30.9	44.9	24.3	32.1	46.5
	企業動向関連	29.7	21.9	7.8	18.8	35.9
	雇用関連	35.0	30.0	5.0	5.0	20.0

表2 - 14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	0.0%	8.5%	25.4%	47.5%	18.6%
平成20年 9月	0.0%	8.3%	43.3%	38.3%	10.0%
平成20年 12月	0.0%	6.8%	8.5%	35.6%	49.2%
平成21年 3月	0.0%	5.4%	23.2%	41.1%	30.4%
平成21年 6月	0.0%	10.5%	56.1%	21.1%	12.3%

### 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断DIは42.7となった。3月調査分より14.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2 - 15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成20年	平成20年	平成20年	平成21年	平成21年
		6月	9月	12月	3月	6月
合計		27.1	32.3	21.1	28.1	42.7
	家計動向関連	25.0	27.9	22.9	26.4	38.5
	企業動向関連	30.9	40.6	20.6	34.4	50.0
	雇用関連	30.0	35.0	10.0	20.0	50.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.7%	6.8%	16.9%	47.5%	27.1%
平成20年 9月	1.8%	3.6%	40.0%	30.9%	23.6%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	15.5%	48.3%	34.5%
平成21年 3月	0.0%	5.3%	35.1%	26.3%	33.3%
平成21年 6月	1.7%	15.5%	46.6%	24.1%	12.1%

## 県南地域

3か月先の景気の先行き判断DIは44.7となった。3月調査分より14.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を7期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

表2 - 17 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成20年 6月	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月
合 計	29.6	30.4	24.6	30.5	44.7
家計動向関連	31.8	28.8	22.9	29.7	41.7
企業動向関連	25.0	31.9	31.9	34.7	48.4
雇用 関 連	30.0	35.0	10.0	20.0	55.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.7%	0.0%	31.7%	48.3%	18.3%
平成20年 9月	0.0%	7.1%	25.0%	50.0%	17.9%
平成20年 12月	0.0%	1.7%	33.9%	25.4%	39.0%
平成21年 3月	1.8%	7.3%	29.1%	34.5%	27.3%
平成21年 6月	1.8%	15.8%	45.6%	33.3%	3.5%

## 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.1となった。3月調査分より14.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を9期連続で下回った。業種別にみると、家計動向関連、企業動向関連及び雇用関連の全てのDIが3月調査分を上回った。

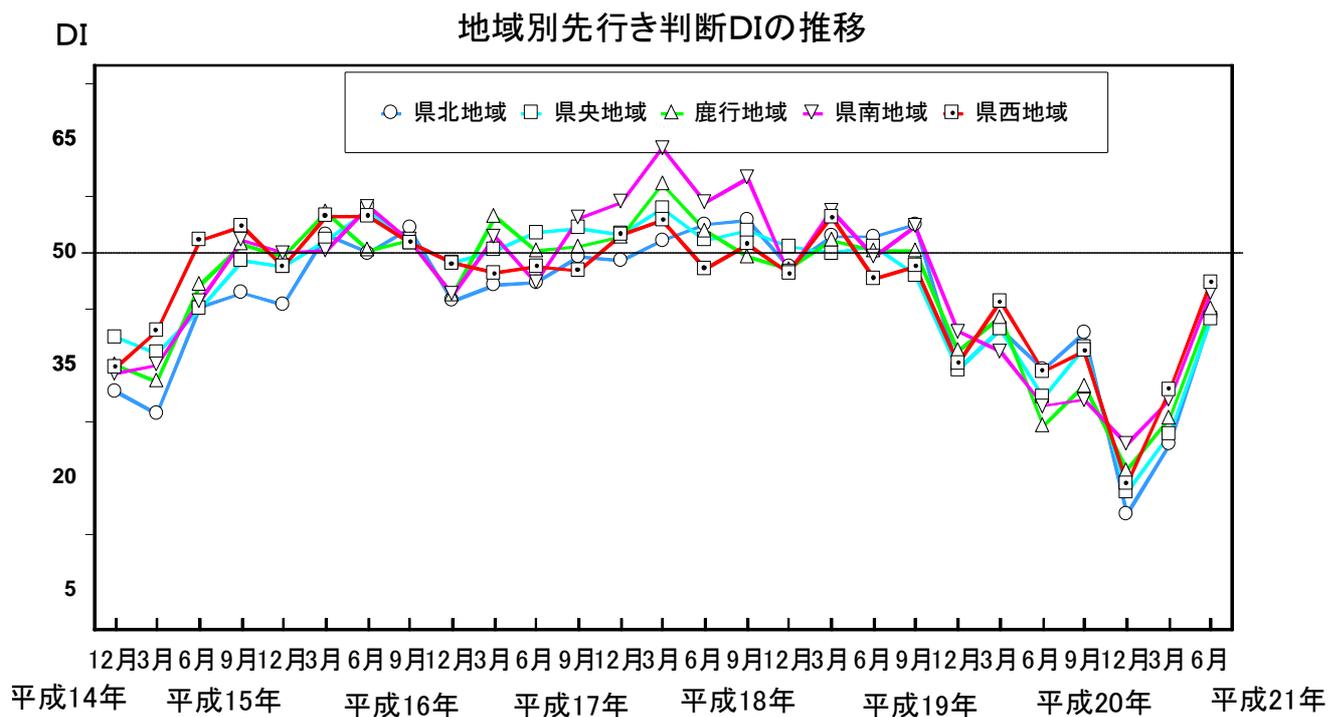
表2 - 19 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成20年 6月	平成20年 9月	平成20年 12月	平成21年 3月	平成21年 6月
合 計	34.3	37.1	19.4	31.8	46.1
家計動向関連	31.3	39.6	22.9	28.5	47.1
企業動向関連	40.8	30.3	12.5	40.3	44.4
雇用 関 連	31.3	45.0	20.0	25.0	45.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成20年 6月	1.7%	6.8%	35.6%	39.0%	16.9%
平成20年 9月	1.7%	10.0%	41.7%	28.3%	18.3%
平成20年 12月	0.0%	0.0%	24.1%	29.3%	46.6%
平成21年 3月	0.0%	10.2%	33.9%	28.8%	27.1%
平成21年 6月	1.7%	20.7%	50.0%	15.5%	12.1%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



### 3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	289 人	96.3%
県北地域	60 人	59 人	98.3%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	57 人	95.0%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

### Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

#### (1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	企業	運輸業	貨物量は去年の10月をピークにして減少し続け、年を越して1月に入ってさらに落ち込み、2月は前年同月比の約60%の貨物量にまで落ち込んだ。5月はゴールデンウィークがいつもの年より各工場が長く休みを取ったので前半は動かなかったが、後半は常陸那珂港の貨物が動いてきた感もあり、まざまざの荷動きとなっている。	
やや良	□計	商店街代表者	景気回復の兆しが見えてきた。	
		スーパー	今年2月・3月頃が一番景気悪化の感があったが、現在は売上げ点数は増加している。	
		和食食堂	昨年の秋から半年間続いた工事が終わり交通量の流れが良くなったため客足が伸びた。	
		パチンコ店	景気低迷自体は下げ止まったと感じる。売上げ、利益から見ても、その傾向を感じる。	
		ゴルフ場	顧客のコース選択の目がはっきりしてきた。(コースの設備状況、従業員の元気・誠実な対応、料金意識が顕著etc) 来場者数で対3月比は121%と増加している。高速料金と天候に恵まれ、全体的に上向きの流れにある。	
変わらない	□計	コンビニエンスストア	株価が戻ったり、定額給付金の支給などもあるが、支出への影響は少なく、タスポ(成人識別ICカード)効果による売上げ以外は厳しい状況が続いている。値引きセールへの反応は以前よりも良く、低価格指向は続いており景気の悪化は継続していると感じる。高速道路の週末割引による効果も売上げには出ていない。	
		自動車販売店	顧客の購買指向に何ら変化はみられない。	
		小売業(水産物)	売上げの変動がない。	
		スナック	3か月前に比べ、客足が遠のき客単価も低い。	
		観光型ホテル	予約・売上額ともに、前年同期と比較してほぼ横這い。	
		ドライブイン	客単価は相変わらず低い。連休があったが、みやげ品というよりも自分用の買い物が多い。客数は去年と比べて伸びた。ETC割引の影響か、遠方からの客や初めてという客が多かったが、余計な買い物はせず、やはり自宅用の買い物がほとんど。消費に対する客の姿勢に変化はない。	
		ゴルフ場	3か月前と比較しても東京圏(東京、埼玉、千葉、神奈川)からの来場が引き続き伸び悩んでいる。県内顧客の動向についても平日の休暇が増加したため、本来土・日・祝に来場者が集中すべき職種であるが値段の高い土、日を選び、来場者が平日に集中する傾向にある。	
		ゴルフ場	ゴルフ場の場合、季節要因等もあり一概に3か月前との比較で景気の判断は出来ないが、来場者数は前年比では横這い、売上げについては優待プランの利用が増加したため、前年度比でマイナスの状況。一時期の閉塞感からは解消された感もあるが好転もしていない。	
		企業	製造業(一般機械器具)	受注や出荷状況が横這い。
			製造業(電気機械器具)	継続して景気低迷している。
製造業(電気機械器具)	工場への来客数に大きな変化はみられない。			
製造業(電気機械器具)	受注量はあまり変わらない。			
製造業(輸送用機械器具)	グリーン税制、中国向けの要求増、ハイブリット車の販売好調もあり車種によって要求が増加しつつあるものの、反面クライスラー・GM(ゼネラルモーターズ)破綻の影響により、開発中止や数量激減の動きもあり、大きな変化は見られない。			
建設業	民間の設備投資は既に計画見直しや延期等がなされているので今のところは変わっていない。			
情報通信業(情報サービス業)	商談が薄く回復の兆しは見られない。			
金融業	企業の設備投資が、減少しており製造業が依然として厳しい状況にある。個人所得も減少傾向(夏期賞与も回復の兆しなし)にあり消費が鈍化している。			
不動産業	不動産業界に関しては、好転の兆候はまだ具体的に見受けられない。			
雇用	学校就業関係者	4月入学の学院生(離転職者)の入学者数が、例年に比べ多いところがあるので3か月前と比べ景気は悪いと思う。		
やや悪くなる	□計	スーパー	売上高・客数が減少している。まとめ買いも減少し、必要な商品しか購入しない。客単価も低下している。	
		コンビニエンスストア	大型連休以外の行楽客が昨年と比べ減少している。また、高単価商品の販売が鈍化傾向にある。	
		衣料品販売店	底を打っている感はある。上昇を期待するが、遂に持ちこたえられず廃業している店が出ている。	
		小売業(酒類)	専門店ならではの高額商品の目的買いの来店者はあるが、連休後客数の減少が目立つ。	
		レストラン	夜の顧客が減少した。	
		観光型ホテル	昨年の5月の来場者・売上げともに下回った。本来だと新緑の季節となり期待できるのだが・・・。特に宿泊人数が思ったほど伸びなかった。宿泊人数に限っては、今年1月から伸び悩んでいる。	
		旅行代理店	消費者は、新型インフルエンザの関係で外出・旅行を控えているようだ。	
		タクシー運転手	夜の飲食街の活気が、少し悪化している。	
		タクシー運転手	3か月前より、1日当りの売上げが約2,000円程度減少している。	
		理・美容店	不景気による給与、ボーナス等の減収など暗い話が多く、生活必需品以外には消費が廻らない。特に我々のサービス業には影響が大きい。	

企業	住宅販売会社	影響力の大きい地元企業の動向が思わしくない。
	林業関係者	木材市況において、3.65m～4.0mの木材については価格は変わらないが、住宅用3.0mの木材の価格が下落している。
	製造業（精密機器）	3か月前から悪い状態が続くと、資金バランスも悪くなってくる。
	製造業（製缶）	遠隔地（東京）の取引先の作業量が減少している。同業者より地元の大企業の作業量が減少しているとの話を聞いた。（当社は減少していない）
	製造業（電気機械器具）	年度末（3月）より受注状況がさらに減少している。
雇用	運輸付帯サービス業	取引先において、作業量の激減に伴い、休日増の対策が実施されている。また、取引先の経営状況の悪化により、発注金額の切り詰め、人員削減の指導が強くなってきている。
	求人広告	倒産する企業、縮小する企業が増加したように思う。
	就職相談員	前年度比3割減の生産高で、やっていけなくなってきた事業所も出てきた。
家□	商店街代表者	厳しい経済環境で消費マインドが低下し、売上げが下落している。
	衣料品販売店	チラシによるお買い得商品しか購入しない。一人当たりの売上げ点数も減少している。
	金物・荒物・建築資材	例年5月は売上げが減少するが、今年は今までにないくらいの減少である。
	ガソリンスタンド	軽自動車に乗る人が増加して、節約志向が徹底してきている。生産量は相変わらずで週3日、4日休みが定着した。
	観光型ホテル	フリーの食事処の顧客が減少している。
	タクシー運転手	地元企業で休日数が増加している。新型インフルエンザの影響も多分にあり、出張・外出が減少した。
	タクシー運転手	企業の休日が多くなり、夜の飲食店の客も少なく売上額もかなり減少した。
	レジャー施設	年間最大の集客時期であるゴールデンウィークの結果を見ても、昨年より入場者が30%増加したにもかかわらず、売上げの伸びは10%程度に留まっていることから、顧客の財布のヒモの固さを実感した。
	クリーニング店	客数、客単価ともに減少している。
企業	水産業関係者	本年の県全体の水産界は「不漁」で推移しており、漁家、加工業とも、不景気である。
	製造業（電気機械器具）	受注案件が相次いでキャンセルされ、仕事量が減少した。金融不安の波により08年度連結決算赤字損失。業績回復対策として、毎月第三金曜日を休みとした。（年間12日）
	製造業（電気機械器具）	取引先数社より、帰休日の通知がある。購入先からも同様な情報が入ってきている。周辺の会社でも帰休を実施していたが、弊社でも3か月前より更に受注量は減少・ギリ貧のため帰休を実施している。現状を打開すべく新規取引先を開拓しているが、受注に至らない。顧客を含め自助努力で、コスト削減・帰休日数の追加等にて精一杯耐えている状況である。
	製造業（電気機械器具）	作業量が減少している。所定時間フルに稼働するだけの作業量がない。
雇用	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数が18か月連続して前年同月を下回っている。また、契約の停止や雇止め等により退職を余儀なくされる予定の在職者や離職者への相談が増加傾向にある。

(2) 県央地域 【現状】

(- :回答が存在しない。 ○ :主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	家計	自動車販売店	エコカーへの代替が非常に多く受注量も前年比200%を超えている。
	企業	運輸業（道路貨物運送業）	自動車関連の原材料の出荷が予想以上に早く始まった。
変わらない	家計	サービス業（コンサルティング業）	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3か月前より良くなった店舗が多い。3月は年度末ということで不安感が先行し、家計も企業も引き締めが強かったと思われる。定額給付金やエコ・ポイント等の明るい話題も影響しているのでは。
		百貨店、総合スーパー	売上げ、客数、共に同じような数字となっている。まとめ買い、高額商品の買い控えなども3か月前とほぼ同じような様子である。
		スーパー	必要最低限の商品しか購入されない状態が続いている。
		スーパー	客数や、一人当たりの購入額に大きな変化がない。
		家電販売店	エコポイントの導入で品物の動きが少しは良くなるかと思ったが動きが少ない。
		農産物直売所	高級素材、和牛の販売が変わらない。レストラン、夜の家族連れ同じく少ない。土日の県外ナンバーの車は増加したが売上げにつながらない。
		専門スーパー	年度が変わり、新しい賃金体制で消費も鈍ると思ったが、現状としては、ガーデン関連や農業関係の動きが良く、思った程の消費の冷え込みもないと思える。（定額給付金も一部プラスにはなっていると思う。）
		レストラン	3か月前と比較して来客数、売上げは減少しているが、3か月前は歓送迎会等で多忙な時期であり、昨今の今頃と比べれば変わらない。
		タクシー運転手	実車数では-9.52%、売上げでは+25.84%となったが、たまたま長距離の客が当たったものであり、実車回数が増加しないことからすると好転しているとは考えられない。
		ドライブイン	大きな動きがなく変わらなかった。
		ゴルフ場	5月末に開催されたプロトーナメントの効果が表れてこない。
		パチンコ店	最近店舗の来店者数を見ていると一時のように、日々減少する様子もなく横這いになってきたように思うので、特別な状況の変化がなければ当面は変わらず推移するように思われる。
		レジャー施設	施設利用契約数に変化がなく、利用回数も昨年同期よりやや増加している程度だ。
		レジャー施設	入場者の伸びに変化は見られず、良くなっている感じがしない。
		理・美容店	3月は卒業式・入学式を控えていたため、いつもの月よりやや忙しかった。今月は梅雨を前にパーマの来客を期待したい。
		理・美容店	1月～4月までは変わりなしだ。5月は暑かったのかほんの少し良くなった。
		建築設計事務所	誰一人として景気の良い話を聞かない。
		住宅販売会社	景気回復には、まだまだ時間が掛かりそうだ。
		企業	建設業
	情報通信業（情報サービス業）		景況感改善の様子はうかがえない。例年であれば、年度計画遂行のため動きの出でくる顧客も、先行きの不透明であることや、収益状況との兼ね合いから、様子見傾向が感じられ、商談の発生はきわめて少ない。このような状況においては、更なる生産性の向上と一層のコストカットはいうまでもなく、利益確保が難しい商談の取り込みも考えねばならない。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	新年度になったが、例年になく出足が鈍く、売上げや客数とも前年割れの状態だ。
		商店街代表者	県庁東側にホームセンターとショッピングセンターがオープンして千波地区・笠原地区の顧客が中心街に来なくなった。来街頻度に影響している。水戸市の26万人規模の人口ではショッピングセンターがオープンする度に周囲に影響が出る。
		百貨店、総合スーパー	3月以降、前年同月比で来店数の減少幅は縮小してきたものの、客単価の下落傾向が強まっている。
		スーパー	セール品（特価品）の動きが良い。低価格帯の動きが良くなっています。また、高単価の動きは低い。
		専門スーパー	消耗品以外の動きが悪い。
		レストラン	先行きが不透明であり、金銭面においても同様に一人当たりの単価の減少傾向が見られる。
		割烹料理店	飲酒が厳しくなり、外食が減少しつつあると思う。
		観光型ホテル	法人需要の落ち込みが目立つようになってきている。加えて、新型インフルエンザで個人・団体とも外出を自粛しているため、キャンセルなども発生している。
		旅行代理店	消費が戻っていない。新型インフルエンザの影響があまりにも大きい。
		タクシー運転手	客が減少している。駅での人の乗り降りも少なく夜の居酒屋の客も減少している。
		タクシー運転手	主婦の話によると生協のわかめ袋詰めの容量が減少していると嘆いていた。このような状況なのでさらに客の財布のヒモは固く売上げに悪影響していると判断できる。
		ドライブイン	レストランの来客数は、やや増加しているが客単価が減少している。その他の部門においては、大変厳しい状況である。
	観光名所	相変わらず高額商品の動きはにぶく、前年同期と比べても客単価は減少している。	

る	企業	農業関係者	農作物の一部に雪、霜の被害が発生し、コスト面では燃料が上昇し始めている。
		製造業(食料品)	年間を通じて売上げが減少する時期ではあるが受注(外商)が減少している。
		製造業(食料品)	昨年からの不景気の影響が徐々に、顧客の財布のヒモが固くなり客単価も低下ぎみであり、新型インフルエンザ等の風評被害もある。
		製造業(印刷・同関連業)	取引先で会社を買ってほしいとの打診を受けた。
		金融業	昨年の12月から、全体的に売上げの減少傾向がみられる。特に、飲食業は例年に比べて大幅な売上減少がみられる。
		不動産業	雇用問題や減給等の影響で賃貸物件は苦戦している。
悪 く な っ て い る	雇用	求人広告	求人募集において、求人する企業が減少、前年から見ても30%位ダウン。仕事量と人員確保は比例しているのではないかと感じる。
		□□	スーパー
	都市型ホテル		断定はできないが、新型インフルエンザによる団体旅行が減少している。(大会・イベントは除く)景気回復を遅れさせてしまっていると思う。
	都市型ホテル		総会のシーズンを過ぎたが、例年より利用数が減少し、人数も、業種によっては減少し、単価も低下した。これから夏季シーズンになって行くが、昨年と比べても予約数が少ない。
	タクシー運転手		不況の上、新型インフルエンザの影響で、出張の人が激減した。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	受注が減少している。
		製造業(窯業・土石製品)	買い控えが顕著になってきている。商品が売れない。
		製造業(金属製品)	仕事量が激減しており、採算を度外視した安価受注が換行している。
		製造業(一般機械器具)	当社も4月、5月は金曜日を休みにした。(雇用調整助成金対応)中小企業が助成金をもらってもやっていけない。
		製造業(精密機械器具)	月別、受注金額、引合い件数など、会社創設以来の低い数字だ。
		サービス業(広告業)	地場の大手住宅・マンション企業が破産した。ここ数か月、給与遅配や人員削減の話を聞いていたがここまで急速だとは思わなかった。9月までに倒産しそうな企業の噂を多く聞くようになったのだが、その大半が本当ならば、大変なことになる。
	雇用	人材派遣業	まだまだ改善の兆しは見えない。
		公共職業安定所	3か月前との比較で、新規求人数は20%減少しており、一方で新規求職者は30%以上の増加となっている。有効求人倍率もリーマンショック以降7ヶ月連続減少傾向にあり直近では0.52倍まで落ち込んでいる。雇用保険の受給資格決定件数も3か月前との比較で2倍以上となっており退職理由も「景気悪化に伴う事業主都合による解雇」等が増加している。
		学校就業関係者	買い物へ行くときには、100円ショップや路上の野菜売りのように、1円でも安い店を探すようになった。安かった水戸、那珂のレギュラーガソリンも、価格が上昇してきた。
就職相談員		新規求職者数が急激に増加している。H20年4・5月度とH21年4・5月度を比べると148%増加している。(昨年同月比)	

(3) 鹿行地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	家計	家電販売店	エコポイント効果で買い替えが進んできていると思うが、後々購入しなければならない商品を前倒しで購入しているとなると反動があるかもしれない。
		ドライブイン	ETC土日1000円と思われる集客増の効果があつた。
		理・美容店	客単価の良いメニューを選んでもらえるようになってきて、来店サイクルも以前よりは良い状態だと思う。(1000円カットの店との棲み分けができてきたようだ)
	企業	農業関係者	例年よりもメロンの売れ行きが高い。単価が若干低めのため完全に良化したとも判断しかねる。
製造業 (化学工業)		ユーザーの在庫整理が進み、出荷量は予想以上の回復を見せている。しかし、値下げ要請が厳しく、上昇し始めた原材料経費の吸収が難しいため、利益確保は厳しい状況である。	
変わらない	家計	商店街代表者	1年前と比べて廃業が多く、小規模事業者は厳しい状況にある。また、公的な制度融資の申込みが、極端に減少している。
		コンビニエンスストア	消費の仕方に無駄が全くない。客単価は、大幅な前年割れが続いており、買上げ点数、買上げ単価共に悪く、節約と無駄な商品は購入しないという傾向がとて強い。
		自動車販売店	売上げも変わらず、来店客の数も変わらない。
		小売業 (金物店)	近くに工事現場が少なく、遠くに仕事に行っているようだ。近くに鉄鋼メーカーがあるので商売の方はあまり変わらない。ただ定期修理が中止または減少しつつある。
		衣料品販売店	定額給付金が支給になった辺りから、客足は伸びたが一過性のもので継続しないように感じる。実際に、客単価としては増加していない。
		観光型ホテル	予約数などが横這いだ。
		タクシー運転手	売上げが変わらず会社の景気が良くなれないと思う。
		弁当・惣菜店	昨年末の頃から景気はどん底状態が続いているので、今もその状態が変わっていない。
		レジャー施設	前年度改修工事により今年になってから入館者数が幾分増加したが3か月前からもとの状態に戻りつつあり利益減少。一般的に外出先での出費を抑えぎみにしているためと思われる。また企業に勤めている人の話を聞くと、残業がなくなっているところもあり、景気は低迷している。
	住宅販売会社	買い控えの傾向は変わらない。	
	企業	水産業関係者	漁獲量が変わらず低調に推移している。また、冷凍品の出荷も円高が続き輸出が滞っている。
		製造業 (食料品)	今年度に入り商品の売上げが悪い上に、霞ヶ浦産原料が少ない。
		製造業 (飼料)	出荷状況はここ数か月は横這い状況だ。
		製造業 (化学工業)	昨年よりボーナスも減少する見込みであり、経費削減を進めているがまだ効果はみられないと感じる。
		製造業 (鉄鋼業)	減産が続いている。
		運輸業 (道路貨物運送業)	3か月前と比較すると貨物の動きがやや出てきている。4月中旬から出庫してきている。在庫が今まで膨れ上がった分が出庫して、ややスペースが空いてきた所が見られるが、生産もある程度しているので、堅調にきている。
		金融業	緊急経済対策の一環として始まった緊急保証制度融資の申込みが一段落し、落ち着いてきているように見受けられる。
	雇用	求人開拓員	6月現在、好転の兆しは見えない。鹿島臨海工業団地内の企業・事業所等へ求人開拓に出向くも求人の獲得に至っていない。現時点では、製造業での求人はほとんど見込めない状況だ。
	やや悪くなる	家計	商店街代表者
スーパー			売上げ点数減少。余計な商品は購入しない。日替わり特売商品、目玉商品は良く動くが、全体的な売上げ増加につながらない。関西を中心に新型インフルエンザによる商品消費が減少し、関東からの商品 (生鮮品) が、流通されなくなり、関東で余って相場が下落してきている (特にメロン)。
スーパー			どうしても安い商品だけ、それも必要な分しか購入しない。特に衣料品の売上げ減少が大きい。
農産物直売所			スーパーとの価格差によって販売物に差がある。
小売業 (菓子販売店)			客の購入単価が減少している。
小売業 (酒類)			売上げそのものは、大きく変わっていないが、高額商品の売上げが減少している。
小売業 (薬品店)			相変わらず、消費者の財布のヒモは固く、必要な商品を必要なだけ購入している傾向がある。
小売業 (書店)			売上げ、客単価、対前年と比べると日に日に悪化している。客単価よりは、売上げ、来店頻度の低迷、雑誌の低迷も大きい。
洋食食堂			夜の来店客数が減少している。
割烹料理店			予約がある日でも、予約の客のみで、フリーの客が入ってこない。予約のないときは、期待できない。
タクシー運転手			先日乗車した居酒屋の経営者の話だが、客の給料が今迄より5~6万安くなってしまったので今迄のように来店できないとのこと、その経営者の店は客が非常に減少し売上げも非常に悪化したため、閉店せざるをえないのかもしれない。

いい	タクシー運転手	会社から配車される回数がめっきり減った。スーパーなどで待機していても乗客はワンメーターなどの短距離客がほとんど。乗客との会話でも、働く日数が減少した、残業がなくなったなど不況感をひしひしと感じる内容が多い。	
	タクシー運転手	1日の平均売上げが3か月前と比較して約1割～2割減少している（特に土曜～日曜日）。	
	パチンコ店	客の来店時間が以前と比較すると遅くなっている（特に常連客）。	
	理・美容店	景気が悪くなり、客の収入なども減少し、散髪に来店する周期が伸びている。	
	クリーニング店	衣替えの季節なので、少し量はいつもより多く出ているが、1人当たりの持ってくる点数は、減少している。じゅうたんや毛布などもコインランドリーで洗っているようだ。	
	住宅販売会社	展示場の来場者が減少している。	
企業	製造業（印刷・同関連業）	商談や引合いの話が減少していると感じる。	
	保険業	銀行引き落としが残高不足で落ちないことが多くなってきた。	
雇用	人材派遣業	報道されているような景気の底打ち感とかようやく先が少し見えてきたとのことだが、コンビナート全域を見渡してもなかなか実感として良くなった感触は感じられない。特に、人材派遣業界では契約満了で継続更新が非常に難しい企業が増えており派遣終了者が更に増加している。	
	学校就業関係者	離職者対象の講座への応募者が増加している。	
悪くなっている	□□	商店街代表者	客の購買意欲の低下を感じる。得意先でも、ユニフォームの買い替えもかなり減少している。飲食店で店主と話をしても来客が減少しているとのことだ。昨年より商品仕入れの原価の高騰がありまだ落ちついていない。
		コンビニエンスストア	経済対策の定額給付金が支給されたにもかかわらず、自動車税などの支払いになり、客単価が増加しない状況。特にお菓子の売上げが悪い。
		そば処	以前は価格の高い商品が出たが最近はやい商品が多い。
		日本料理店	客単価が低下してきていることや毎週来店していた客が2週または3週に一度になってしまった。
		観光型ホテル	毎日客や接する人すべて声をそろえて景気の悪さを話にする。また、今後、1年後、2年後と全て縮小する予定しかない現在で、回復する見込みも考えられない。
		室内装飾業	売上げがどん底まで到達して、これ以上底を打つことがないくらい低迷している。
	企業	製造業（食料品）	ゴールデンウィーク・高速道路休日割引などの影響もあり、買い控えが見られるようになり、売上げ単価も低下を示している。近所にある化学コンビナートの定期修理も小規模のように見える。朝晩の車の流れも、例年より少ないように感じる。
		建設業	全業種景気が悪いのでボーナスカットや雇用不安のため住宅が建たない。
		不動産業	3月末日でアパートの退去が多く空室が増加している。住宅を建設する人が極端に減少してきている。
		サービス業	顧客からの発注が激減している。発注だけでなく引合いも減少しており、非常に厳しい環境が続いている。
雇用	民間職業紹介業	とにかく求人企業、求人数がかなり少ない。	

(4) 県南地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	家計	スーパー	野菜が安値だったため、一品単価、客単価は前年比より悪かったものの、売上げ点数が伸びたため、売上げは前年を上回った。
		家電販売店	政府施策のエコポイントスタートにより省エネ家電の買い替えが加速している。
		自動車販売店	補助金制度の影響だと思われるが、客が積極的に動き出している気がする。来店客が増加していることからそう感じる。
		ガソリンスタンド	若干だが燃料油関係の売上げが良くなっている。原油の高騰が今は価格が安定しているためと感じる。
		洋食食堂	来客数に大きな変化はないが、新しい客が増加したことと若い主婦の食事会や60代の食事会等定額給付金のおかげなのかどうかあまり不景気感を感じない。
		都市型ホテル	2～3月の頃と比較すると宴会、レストランの予約や利用が少しずつ増加してきたようである。ただし、1人当たりの利用単価は変わってないと思われる。
	企業	製造業（食料品）	陽気のせい或少し客数が伸びてきている。
変わらない	家計	スーパー	売上げ点数が伸びていない。客数は前年並みなので売上げも伸びない。
		スーパー	悪い状態で変わらない。客の買物動向に変化が見られない。ロープライス政策にて価格引き下げを実施しているが継続していかないと業績維持できない状況だ。
		コンビニエンスストア	値引きセールやプライベートブランド商品の販売動向は良く、同等の価値の商品ならば1円でもて低価格の商品を求める動きは強い。ただ一方では、珍しかったり情報が付いた商品については多少価格が高くても購入する傾向もある。
		コンビニエンスストア	客単価、買上げ点数に変化はなく、客の購入状況に変化は出ていない。
		衣料品販売店	客数は増加しているものの、客単価減少が顕著。全体の売上げは減少傾向だ。
		専門スーパー	生活必需品の動向が変化していない。まとめ買いなどは少ないが必要に応じて購入していると思われる。無駄な買物をしていないだけで、いざというときの現金確保をしている感じだ。ガーデニングやホビーなど家で行う商材の購入は増加している。
		洋食食堂	それなりに弁当の予約は入ってくるのだが、通常開店の客足が伸びない。
		都市型ホテル	客との打合せの中で定額給付金の話題があったが、消費者が利用するのか、また、その給付金向けの商品開発するかと、色々とは話したが、客数、件数も動きが変わらなかった。
		旅行代理店	新型インフルエンザの影響等は落ち着いたが、様々な要因により出足が遅く抑えている感じが強い。
		ゴルフ場	コンペ予約等も前期並みに入ってきている。
		ゲームセンター	通常ではゴールデンウィークなどで景気が良くなるのだが、今年は常連客がほとんどで、新規客が少なかった。
		建築設計事務所	民間の仕事はほとんどないに等しい。
		住宅販売会社	良い兆候も更に悪くなっている兆候も見られない。低レベルで均衡が保たれているといった感じだ。
	企業	製造業（食料品）	デパートやスーパーを周り様子を見てもほとんど変わらない。
製造業（飲料）		良し悪しの変化が感じられない。	
製造業（印刷業）		新年度に入り、公共事業等新規の現場・物件等が稼動していない。	
製造業（窯業・土石製品）		公共事業を中心とした内需なので、今回の大不況の影響は直接受けていないが、方々で大手のマンション業者や中小の土木業者の倒産が増加してきており、収益面が悪化している傾向がある。	
製造業（窯業・土石製品）		政府の景気対策措置（定額給付金、緊急融資制度等）の効果が目に見えてこない。	
製造業（一般機械器具）		期間社員、契約社員に対し休業措置をとることとなった。	
建設業		リストラ及び役員の減給30%、一般社員20%それぞれ減給し、35%のリストラをして支出を極力抑えて4か月経過、受注が50%減少して、さらに6月に入ってから65%位になってしまう。8月になると少し受注が期待できそうに予想している。75%位回復可、もう少しの辛抱・・・金属加工業者の工場長の談	
建設業		景気回復に歯止めが掛かっている感もあるが、依然として個人消費が低迷しているように思える。	
運輸業（倉庫業）		3か月前と比較しても貨物の動きはあまり変わらない。他社と競合している貨物を保管しており、価格の面で注文を控えているようだ。食品関係の貨物のみ好調だ。	
金融業		設備投資がほとんどなく、景気が良くなっている実感はほとんどない。	
雇用	人材派遣業	取り引き先において、人員の配置見直しがまだ行われている様子だ。	
	求人広告	社員の休暇が増えたり、通常、外出等して社長が会社にいることが多い。	
	公共職業安定所	雇用調整を行っている企業が減少しない。	
	求人開拓員	求人数は減少傾向、求職者は増加傾向にあるものの、製造業でも少しずつ受注が入り始め、新たな募集を検討している企業がある。	

やや悪くなっている	商店街代表者	来客の20才～40才位の消費者は仕事量の減少により手取り給料も当然減少するとのことで、消費額が低価格品で量も最少の買い上げ傾向が強い。
	スーパー	客数は増加しているが、売上げ点数が低く、客単価が落ちている。また、お買い得品、特売品の売上げが高いのは景気が悪くなっているためである。
	農産物直売所	近隣の大型ショッピングセンターの開店セールの影響もあり、3か月前と売上げの伸びが止まっている。
	和食食堂	売上げ低迷、ファミリー客、サラリーマン客の減少。他店舗他業者の閉店が続いている。個人消費が回復しない。
	寿司店	普段の仕事を通じて、予約はそこそこに入ってくるが、そのみで、フリーの客が減少している。
	タクシー運転手	4, 5, 6月と前年比で2割減の実車数であり全然回復の兆しが無い。また、少しづつ減収がじわじわと進行している。
	家□ タクシー運転手	会社関係のタクシーチケットでの乗車及び夜の客が減少している。
	タクシー運転手	仕事関係上、水上商売なので売上げが3か月前より非常に減少している。昼は病院までの送りでほどほどに仕事はあるが、夜についてはサラリーマンが飲んで帰るといった傾向が非常に少なくなり、また、飲んでも電車の時間があるうちに帰宅するのでタクシーの利用が減少している。
	タクシー運転手	依然として乗降客が少なく実車回数が15%位減少している（5月は休日が多く売上げが伸び悩んでしまった）。
	タクシー運転手	売上げが減少している。
	ゴルフ場	今月もオンシーズンだが予約が4～5月と比べて出足がかなり遅い。少しでも料金の安い所を探しているような感じを受ける。
	パチンコ店	以前は平日はともかく、土日はそれなりの客数だったが、最近、土日に関係なく少なくなった。
	理・美容店	夏のボーナスを直前に控え皆期待どころか落胆している心情をうかがえる。世の中の企業間の経営状況の悪化を冷静にとらえている。
企業	農業関係者	客の家で、これまでの契約を継続できないかもしれないと言われた。その理由として、働く日数が今後減らされるようだとのこと。他の家でも同様の話をされた。
	製造業(非鉄金属)	受注量は前年比約35%減、依然として厳しい状況が続いている。このため休職制度続行中。(4勤3休)夏のボーナス支給の見合わせを検討中。
	建設業(設備工事業)	水道工事の受注減少により売上げが少しずつ減少している。
	不動産業	昨年10月以降について前年比来客数、成約数がやや悪くなっている。特に借上社宅の解約等、企業の動向の影響を受けている。売買においても、種々の要因によるメンタル的部分の影響により買い控え傾向が強まっている。
悪くなっている	家□ スーパー	大型競合店出店のため、競争が激化している。
	旅行代理店	新型インフルエンザの影響により、受注のキャンセルが相次いだ。
	レジャー施設	一般客の減少で景気(収入)は良くない。
企業	建設業(設備工事業)	3月に比べ公共工事の年度末仕事も終わり、5月6月は民間、公共工事も仕事量が激減している。
雇用	学校就業関係者	雇用保険受給者対象の訓練を行っているが、応募者数が激増している。3月に行った選考試験では30人定員に40人の募集があったが、5月に行ったものでは40人定員のところ、150人も募集があった。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	政府のエコポイント施策により相乗効果に伴い売上好調!! (特にエコポイント対象商品として液晶・プラズマテレビ・エアコン・冷蔵庫) 入店客数が増加することから店舗全体が活気づいてきている。
	企業	製造業 (食料品)	新製品の製造を盛んに行っている。稼働率も昨年同時期の130%ほど。
		製造業 (化学工業)	半導体、液晶関連での受注の動きが顕著。在庫調整が終わり、急激な立上りが見られる。但し、本格的な回復(ピーク時)には至っていない。
やや良	家計	自動車販売店	優遇税制等の対策があり、消費が一部活発になった感じだ。
		タクシー運転手	5月中旬を過ぎてから少し利用客が増加したように思う(乗車回数が増加したため)。
		理・美容店	気温の上昇とともに髪を短くし、サッパリとしたいと考える客が増加した。
	企業	クリーニング店	衣替えの時期で品物の点数が増加した。しかし、例年より点数が少なく、やはり自分の家で洗う傾向が強いのだろうか。
変わらない	企業	製造業 (電気機械器具)	作業量の増加により、製造部門より増員についての相談が増加した。
	家計	スーパー	3月、4月、5月と売上高の前年伸率はほぼ横這いとなっている。客の購買行動は依然として、日替品などの低単価品、ディスカウントされた商材が中心となっている。
		寝具販売	時期的な所もあるが、相変わらず、女性のパートの声を聞くと工業の製造業では、午前中で仕事が終了したり、金、土、日曜が休業という声を聞く。また、食品製造業では、お中元シーズン前なので、ハム工場などでは、パート募集をしているとのこと。全体的には、3月頃とは変わっていない。
		コンビニエンスストア	キャンペーンやセールを実施する商品は割安感で販売実績は伸長するが全体として買上げ点数、客単価が増加している訳ではなく、相変わらずの買い控え傾向が見られる。
		農産物直売所	一般客は景気低迷の意識は変わっていない様子だ。
		専門スーパー	客数に変動がない。
		和食食堂	客足、売上げが平均して変わらない。
		ビジネスホテル	企業の設備投資が低調であり、出張等人の動きが以前より少ない。
		タクシー運転手	景気低迷のままだ。
		ドライブイン	客の買い控えが続いているように思う。
		ドライブイン	来客数、客単価とも大きな変化はなく、季節要因を考慮しても景気は変わらないと思う。
	理・美容店	話を聞く限りでは悪くなったままである。定時が早くなったり、週休3日が当たり前といった状況が続いている。	
	企業	農業関係者	経済状況自体が大きな変化もなく、個人としても特に変化が見られない。3月は天候不順により農作物への影響もあったが、4~5月は天候も回復し、収穫物も安定してきている。
農業関係者		メロン、スイカまつり等のイベントを5月下旬~6月下旬まで開催している。客数は前年と変わらないと思うが客単価は減少している。	
製造業 (印刷・同関連業)		景気は悪いと思っていたが、5月11日~9月30日迄使用できるプレミアム付商品券(地域振興券)が5月8日に発売され、6月上旬には完売になった。(2億5千万円分)不景気の割には完売が早かったのは10数%のプレミアムが楽しみで、少しでも得した気分を味わいたい庶民心からか・・・。	
製造業 (窯業・土石製品)		昨年暮れからの景気低迷がそのままの状態であり、これ以上の悪化はあまり考えることはないと思う。但しテレビ、新聞等の刺激に左右されやすくなっている。	
製造業 (金属製品)		引合い、受注量、見通し、すべての面で変化はない。	
不動産業		法人契約より個人契約への変更がみられる。	
雇用	求人広告	新規オープン店ができて、近隣の店が閉店したり良いのか?悪いのか?	
やや悪くなる	家計	コンビニエンスストア	客が1回に買う買物の客単価が減少し続けている。男性客でも10円、20円の割引セールにも飛びつくようになってきている。明らかに客が自分の買物の上限額を決めていて無駄な商品を購入しなくなっている。
		ガソリンスタンド	夜間の来店客が減少している(残業などが少ないと思われる)。
		和食食堂	毎年のことで5月~6月は客数や売上げは減少している。今年は特に悪くなっている。
		和食レストラン、割烹	3月は送別会等の「季節の予約」があったが今月に関しては季節の予約がない分、悪くなっている。
		タクシー運転手	以前に比べて、出張者が減少し、朝の仕事が非常に減少している。週末以外は、飲食店なども客がおらず早めに店を閉める所が見受けられる。
		タクシー運転手	夜間の乗客が減少した。
		ゴルフ場	来場予約状況がやや悪くなっている。
		ゴルフ場	企業の接待控え等、土日の予約減が深刻。来場者においても消費控えによりレストラン等付帯単価が減少してきている。
		住宅販売会社	住宅業界にとって厳しい状況が続いている。
製造業 (食料品)	売上げが落ちている。		

企業	製造業（印刷・同関連業）	価格の競争が、厳しさを増している。
	製造業（窯業・土石製品）	3月から4月、5月と売上げが2割前後落ち込んでいる。客から見積り依頼が沢山あるが、価格の差により、中国メーカーへ発注されてしまうのが現状だ。人件費が比べようがなく安い国なので、国内メーカーは太刀打ちできない。
	建設業	設備投資が計画はあるが不景気のおおりでほとんど見送りされている。個人消費も不景気のおおりで、財布のヒモは緩まない。
	運輸業（道路貨物運送業）	自動車、建設関連の受注なし。
	サービス業（コンサルト業）	建設業界及び製造業においては仕事がなく週休3～4日という状況が発生している。
雇用	公共職業安定所	新規求人数は減少傾向にあり、5か月連続対前年同月比で30%以上の減少が続いている。特に製造業で受注の減少による雇用調整が続いており求人が大幅減少している。新規求職者数は3か月前と比較して32.7%減少となった。
	学校就業関係者	離職者に対する職業訓練を行っているが、例年、2～3名の受講者であったが、今年度は、10名の受講者が集まった。離職者の増加及び就職活動が好調でないことが予想され、企業活動が低迷して、景気はやや悪くなっていると考ええる。
家計	商店街代表者	客の話が「景気が悪い。金が回らない。仕事の発注等が減少している」等、良い話がひとつもない。
	商店街代表者	財布のヒモはますます固くなったようだ。売上げは右肩下がりで5月は前年比93%だった。
	スーパー	一人当たりの買上げ点数が減少していることと、価格に対して今まで以上に敏感に反応している。客の声として、何処が安いかわかりにくい買い回りをしている。
	和食食堂	大口注文のイベント等の回数が減少している。
	都市型ホテル	最近レストラン・宴会の利用客が減少している。客単価も減少している。
	旅行代理店	新型インフルエンザもあって仕事が激減している。海外へ行く客は、一人もいない。一日の売上げは1,500円くらいで、給料がない。
	レジャー施設	ビジネス客の利用が減少している。
	建築設計事務所	不動産業の人との情報交換の中で、不動産業者の管理しているアパートで、月々のアパート代の未払いが増加しており、それにともない生活保護の救済を受けるようになったとのこと。末端の市民生活への影響が懸念される。
企業	製造業（一般機械器具）	今までは親会社かどこかしら仕事受注があったが、どこもない。
	金融業	業種別に於いて生産・在庫の調整が進み、倉庫の賃貸契約解除等が目立ち始めている他に、雇用の調整も進み、政府補正予算による景気刺激策に於いても一部の商品に（自動車・家電製品）消費意欲が見られるも、全般的には依然停滞が続いていると思われる。
雇用	人材派遣業	ほとんど仕事がない。
	就職相談員	就職相談に来る人が大変多いのに求人数は少ない。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

#### (1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	運輸業	日立港、常陸那珂港の荷動きが上向いている。
やや良	家計	自動車販売店	環境対策車購入補助制度が始まったので、買い替え需要に期待している。
		観光型ホテル	夏休みに入り期待できるのではないかと。実際8月の問合せの電話も何件かあるようだ。
		パチンコ店	V字回復とまでは行かないと思うが、上昇トレンドに乗って行くのではないかと感じる。
		ゴルフ場	対前年比で予約状況が現時点で103%の流れにある。また、近隣企業のワークシェアリングによる平日休業設定により増員が見込める。
	企業	水産業関係者	今年は暖流の勢力が強く県全体をおおっているように見えるが、海底層には冷水が差し込み不安定な漁海形成となっている。昨年のおおりの暖水が海底層まで変化すれば、魚の分布が変わり豊漁になる見込み。水産界の景気も良くなると思われる。
		製造業（電気機械器具）	最近来客が徐々に増加している。
		製造業（電気機械器具）	受注が少しづつ出て来たので少しは良くなるかと思われる。
		製造業（輸送用機械器具）	国内の販売状況は大幅な変化が望めないが、北米特にGMの再建計画も明確されGM車が米国人に受け入れられるのか、また、日本車がピックアップ3（クライスラー・GM・フォード）の販売不振の隙間を埋めて売れ出すのか鮮明になるものと推測する。
		建設業	民間は、まだ低迷状態が続くと思うが、公共事業の早期発注が進み、発注量も増加が期待されるのでやや良くなっていると思う。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			地域企業も不景気で、収入の不安もあり買い控えが続くと思われる。
スーパー			地元工場の稼働が回復されていないため、全体としては変化がない。
コンビニエンスストア			ガソリン価格も再度上昇傾向にあり、以前の高騰時と同様に車での来店の減少が懸念される。また、ボーナス支給額の前年比減少により更に節約志向は強まると思われ現状の厳しい状態は続くと思われる。
衣料品販売店			依然不景気が続いており、衣料品にお金が回ってこない。
小売業（酒類）			良くなる環境にない。近隣工場（製造業）は仕事量が壊滅状態。休みも多く給料が減額されている。
スナック			3か月程度で今の状況が変わるとは思えない。
タクシー運転手			今より景気が良くなることも、悪くなることもわからないので、タクシーの1日当たりの売上げは変わらないと思う。
ドライブイン			ETCの影響でも動く人と動かない人がいる。また、顧客に節約志向が強く表れているためこの時期は、消費を促す低単価でおトクな商品開拓が課題。去年を下回らないようにしたい。
ゴルフ場			昨年の予約実績と照らし合わせても、7月以降の上昇気配は感じられない。顧客はより安価なプレー代を求めており、県北では薄利多売を徹底しているコースのみ、ある程度の実績が残せるのではないかと。
レジャー施設			団体遠足で眠っているところだが、売上げを昨年と比較してみると、ほぼ同数に近い団体数にも関わらず、約20%減と厳しい状態が続いている。
ゴルフ場			予約状況はほぼ前年並みだが、優待プラン利用での予約が増加しており依然として、集客に苦慮している状況だ。
理・美容店			若干でも景気好転の見込めない状況では、現状維持が続くと思われる。
住宅販売会社			今年度中の景気浮揚は難しいと感じる。
企業	林業関係者	景気に結びつくような話はなく大きな変化は期待できない。	
	製造業（精密機器）	今以上には落としてはいけないという期待感から。経済の厳しさが、解雇とか倒産とかで今後表面化してくると思う。	
	製造業（一般機械器具）	判断材料が見当たらない。	
	製造業（電気機械器具）	回復に兆しが見えてくる要因が見当たらない。	
	製造業（電気機械器具）	現状が底であり、しばらくは継続すると考える。	
	製造業（電気機械器具）	大きく改善されることは望めないが、商品のモデルチェンジがあるため今後の営業に期待する。	
	情報通信業（情報サービス業）	景気の先行きが、まだまだ不透明であり、景気回復には、まだ時間がかかると思う。	
	金融業	景気は、底をついた感があるが具体的な好転の兆しはなく、不透明な状況である。	
雇用	不動産業	主な客層の経済的環境は昨年度より厳しくなっており、年取ダウンによる金融機関の融資審査も厳しくなると考える。	
	運輸附帯サービス業	取引先の会社の特殊性から、後期は作業量の増加を見込めるものの、受注金額の目減りを考慮すると、現状を維持できる範囲と判断している。	
	学校就業関係者	6月から就職活動の求人の受付が始まり、それによって例年との景気ははっきりするのだが、企業の話だとあまり良くないようである。	

やや悪くなっている	□計	コンビニエンスストア	売れる商品の価格が安価になり続けており、併せて売上げ点数も減少傾向にある。
		衣料品販売店	本当に必要な商品しか購入しない傾向が強くなっている。
		小売業（水産物）	景気が良くないことで、安価な商品の売れ行きが好調だ。
		和食食堂	敷地内のスーパーが閉店して、客足が減少した。後にはドラッグストアが入るらしいが、客足が読めない。
		観光型ホテル	前年同期と比較して日帰り客の予約が低調である。
		タクシー運転手	先がみえない経済状況である。
		タクシー運転手	3か月先は、7月、8月、9月と会社関係が夏休みやお盆休みと休みが多くなるため、客足が遠のく。
企業	製造業（製缶）	遠隔地（東京）の取引先の注残が減少している。	
雇用	就職相談員	受注残がないので、このままでは経営が厳しくなり、益々縮小せざるを得ない。	
悪くなっている	□計	商店街代表者	景気回復の兆しが見えない。顧客の低価格化志向が見られる。
		観光型ホテル	顧客との会話の中で、景気の悪さの話が多く、好転する要素が感じられない。
		タクシー運転手	定額給付金や自動車エコ減税・エコポイントにより昼間の客に期待したい。
		クリーニング店	景気の悪い話ばかりで、良い話はほとんどない。近隣企業の業績の低迷が影響している。
	企業	製造業（電気機械器具）	受注案件がなく、先行きが不透明。業績不振が続けば、更なる業績回復対策が講じられると予測する。
		製造業（電気機械器具）	顧客の生産計画からも引き続き悪い状況が予測される。受注量を確保すべく新規取引先の開拓・営業活動を展開しているが、各社も同様に景気の状態が良くないために受注に結びつかない。今後3か月先の景気は、顧客の情報から判断すると現状維持と思われる。
	雇用	求人広告	良くなる要素がない。
公共職業安定所		世界経済危機の影響による景気の低迷から依然として製造業関係などからの求人の減少幅が大きい。	

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良	家計	スーパー	夏休み、中元、お盆商材強化、及び、プライベートブランド価格を下げたことにより売上げ点数が増加した。
		スーパー	政府の追加予算が決定されたため。(エコカーやエコポイント)
		自動車販売店	消費者がそろそろ景気も上向くだろうと期待感もあり消費に対して積極的になっている感じがみられる。
		ゴルフ場	例年夏場には、平日優待券の取り扱いが始まるので、予約申込みが増加傾向を示している。
企業	製造業(精密機械器具)	弊社製品購入先の主要な顧客の経営状況が、中国特需輸出などで持ちなおしつつあるなど、やや明るい見通しの期待はあるが、何時まで続くのか不透明感もある。	
	建設業	公共事業の景気対策を期待する。	
変わらない	家計	商店街代表者	不況感も収まり、回復する傾向に向かうのではないかと。
		商店街代表者	大変厳しい状態は変わらない。定額給付金の特需もない。
		百貨店、総合スーパー	夏のボーナスの減少や雇用状況の悪化が消費活動に大きくマイナスの影響を与えており、今後も節約志向が継続するものと考えられる。
		スーパー	今後も低価格、売上げ点数の減少は続くと思われるので、景気が良くなるとは思えない。
		家電販売店	収入が減少しているので、どうしても修理ができず、買い替えをするのもなかなかふみ切れずにいる。
		農産物直売所	現行も利益の取れる高額商品の動きが悪いので、お中元需要もなくなり、景気が良くなるとは思えない。
		レストラン	良い状況になる要因も特になく不安材料は変わらないと思う。
		レストラン	予約の動向を見てもあまり大きな変化はない。
		割烹料理店	不景気にもなれてしまったのだろうか。少しずつだが、顧客がもどっているように感じる。休みの前日などに集中しているので平均的になってくれればいいなと思っている。
		都市型ホテル	経済状況・新型インフルエンザによる不透明要素が複数あるため、景気回復には至らないと思う。
		都市型ホテル	単価の減少は変わらず、全体の売上げの伸びは期待できない。3か月先の予約数も伸びていない。
		タクシー運転手	タクシー業界は、これからますます厳しくなると思う。
		タクシー運転手	いい話をまったく聞かない。
		タクシー運転手	顧客や、街の動き等から観ても、上向く様子はない。
		タクシー運転手	近々衆議院議員総選挙が行なわれ政権交代による期待感があり、見通しが明るくなり、売上げもやや良くなるのではないかとと思われる。
		ドライブイン	とくにこれから3か月間は一年のうちで動きがなく変わらないと思う。
		観光名所	予約状況などは、例年並に推移しているため、但し客単価が落ちている現状を考えると悪くなる恐れもある。
		パチンコ店	農繁期やこれから夏休みに向かい今までもどちらかと言えば客数は減少する時期であるが、今の状況を見ると、売上、客数ともほぼ横這いであり、下げ止まり感があるので変わらずに推移すると思われる。
		レジャー施設	施設利用契約数に変化がない。
		レジャー施設	ETC割引も、首都圏から茨城まででは割安感が薄いためか、入場者の増には効果がなかったと感じられ今後もこの傾向は続くと思われる。
理・美容店	消費者が1000円カットに流れている。組合員の店は暑くなってもそれほど変わらないと思う。		
住宅販売会社	景気回復には、まだまだ時間が掛かりそう。		
企業	農業関係者	3か月先は、秋の収穫時期を迎えるが、価格相場に関する変化に目立った情報はない。	
	製造業(食料品)	新聞等では景気が上向きとの報道だが、自分このままの状態が続くと思う。	
	製造業(金属製品)	景気が多少上向いても、実際に仕事がでてくるまでには時間がかかる。	
	運輸業(道路貨物運送業)	製造業の大幅な減産は続いており、持ち直すには時間がかかりそうである。	
	情報通信業(情報サービス業)	厳しい環境は、自分回復することは難しいと考える。各企業の在庫調整一段落による復活に期待するが、効果は限定的と考える。取引先の夏期ボーナスの支給内容についても、あまり景気の好い話は聞こえてこない。個人消費は、国の施策等により若干は期待できるが、私たち業界は、市場停滞や多くの企業の弱った体力を考えた場合、商談発生の機会は薄く、自分冬の状態は続くものと思料する。	
	金融業	以前に比べて、資金繰りが厳しくなっているようで、融資の相談を多く受けるようになった。	
	サービス業(コンサルティング)	3か月前より良くなったものの、それ以上の改善は厳しく、今の状況が続くと思われる。特に、家計消費においては購入金額を次の購入までの期間が長くなっており、依然として節約傾向が続くと思われる。	
雇用	人材派遣業	引き続き悪い状況であると思う。	
	求人広告	現在の取引先は中小企業が多いので大手企業がもう少し景気が良くなると回復しないのでは。	
		百貨店、総合スーパー	消費者の生活防衛意識がさらに強まり、消費増というよりも財布のヒモが固くなるのではないかと。

やや悪くなっている	スーパー	見通しがたたない。
	専門スーパー	今すぐ必要ではない商品の購買力が低い。(安くても買わない)
	専門スーパー	夏のボーナスに関しては、現在の景気低迷が、直接影響をあたえると思えるので消費活動は鈍ると思える。
	観光型ホテル	業種的に一般企業の景気回復から数か月遅れる傾向があり、当分は厳しさが続くと思われる。
	旅行代理店	夏休みの旅行に期待をしているが、新型インフルエンザの関係で例年に比べ出足が鈍い。
	ドライブイン	景気回復の期待は見込めない。現状から見ると、前年同時期の実績を上回るのも厳しいのではないか。
	理・美容店	来客の周期が長くなってきている。また、自分でカラー剤を買って染めている顧客も増えている。
	建築設計事務所	良くなる要因が見当たらない。
企業	製造業(食料品)	厳しいと思う。まだ先が見えない状態が続くと思われる。
	製造業(印刷・同関連業)	4月はまあまあだが5月は8割5分程度、夏物商戦にかけてやや盛り上がり欠ける所がある。
	不動産業	今後の3か月程度では改善できる問題ではないので良くなるとは思えない。
悪くなっている	製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない。
	製造業(窯業・土石製品)	仕事の受注量が減少している。
	製造業(一般機械器具)	6月も金曜日休み、助成金対応。日に2回勉強会を予定。今後も良くなるとは思わない。一部良い報道はあるけれど。
	サービス業(広告業)	景気の底打ち感はない。取引先(主に中小企業)の消費マインドも非常に低下している。
雇用	公共職業安定所	製造業を中心とした多数の事業所より、雇用調整助成金(休業)の相談や申請を受けているが「景気回復の見通しは、まだ見えてこない」という声が多く聞かれる。
	学校就業関係者	定額給付金が出たところで、この給付金に浮かれてすぐに使うわけでもなく、高い税金のほんの一部が戻っただけですます政府の税制に憤りを感じ、今後は更に自己防衛を固めることになる。
	就職相談員	マスコミによる経済指標は、下げ止まり傾向にあるが雇用に関しては、求人企業が減少傾向なので正念場のように思われる。雇用の改善は、経済の1歩あとから付いてくる。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	農業関係者	根菜類、園芸関連の生育が良好だ。長期気象予報（3か月）を見ても、平年並みの安定した気候に恵まれ、稲の生育にも不安がない。
やや良	家計	スーパー	新型インフルエンザの影響がなくなり、人の流れが正常になれば、消費も戻る。商品の相場も安定すれば売上げも確保できる。
		日本料理店	今が一番悪いのではと思いたい。これ以上悪くなると会社が潰れてしまうという声を聞く一方で少し良い兆しが見えてきたという声も聞く。
		タクシー運転手	定額給付金支給でやや良くなると思う。
	企業	製造業（食料品）	中元時期を迎え製造もやや増加すると思うが霞ヶ浦物の原料次第だ。
		製造業（食料品）	景気の悪化で企業のリストラが行われたが、企業によっては再雇用進めている所もあり、やや景気の戻りも兆しが見えるような企業もある。
製造業（鉄鋼業）		新聞報道等で自動車産業の増産のニュースを目にするようになってきた。悪いながらも良い方向に進むことを願う。	
建設業		鉄鋼関係などが少し動くようなので、少し良くなると思う。	
サービス業	中国向けに対し、荷動きが出ており、わずかながら改善の傾向、兆しがある。また各国政府の景気対策の効果が出てくるのではないかと。		
変わらない	家計	商店街代表者	定額給付金の効果は表れず、構造的に家電など大型専門店に流れているのではないかと。待ちの経営ではおのずから限界がある。
		商店街代表者	地方の景気は、すぐには変わらないと思う。デフレも進んでいる中で、これ以上の価格の値下げも無理である。
		自動車販売店	売れている新車もコンパクトカーや軽自動車が多く高級車や貨物車が売れておらずしばらく変わりそうにない。
		小売業（菓子販売店）	原材料等価格が上昇したまま、低下せず、小さな店では安易に値上げはできないうえ、客足が伸びることも予想できない。
		小売業（酒類）	高額商品の売上げは、今後も望めず、景気は変わらないと思う。
		小売業（金物店）	輸出企業が多いので3か月くらいの期間では見通しは変わりがないのではないかと。長期的には、良くなっていくのではないかと。
		洋食食堂	客が食事の回数を少なくしているのかなと思う。
		タクシー運転手	これだけ悪くなると回復するには時間がかかると思う。まして末端のタクシー業界は一番最後でなければ浮上できないと思う。
		タクシー運転手	会社や役所でタクシーをあまり利用しない。
		ドライブイン	景気の先行きがいまだに不透明なため、楽観的には考えられない。
		弁当・惣菜店	3か月先は日本全体では今よりよい状態になる場所（都市部）もあるかもしれないが、地方がよくなるのは、まだまだ先のような感じがする。
		レジャー施設	3か月先の景気については、数年前から施設利用者の統計（グラフ）を取っているところから見ると売上増加傾向ではあるが、収支状況は今月とあまり変わらず、景気は良くなるとは思えない。
		理・美容店	美容業においては変わらないもしくはやや悪くなっているに近いと思う。（店の数が人口に対して多めの状況が続いているため。）お金を払う方の人々の景気は横這いではないだろうか。買い控えが蔓延している。（ついでに店頭販売品を購入することがなくなった）安くていい商品を求めているようだ。
		住宅販売会社	補正予算案も通過し、経済政策が打ち出されているが、短期的にはまだ変化はないだろうと思われる。
住宅販売会社	景気の良くなりそうな感じはしない。		
企業	水産業関係者	漁獲量の増加、円安に期待したいが、現状では大きな変化は見込めない。	
	製造業（印刷・同関連業）	良くなると思える材料が見当たらない。	
	運輸業（道路貨物運送業）	消費者の購買意欲が伸びる環境には今のところない。しかし必需品は必要なのでその部分の動きは期待できるのではないかと。運送の仕事が少なく、今後影響が出てくるとすれば、その部分をどこで補うかである。	
	金融業	設備資金の相談が若干あるものの、計画の具体化には時間を要し、先行きの見通しもまだまだ楽観できない状況にあり、横這いに推移すると思われる。	
雇用	人材派遣業	素材産業・企業が集中しているコンビナートでは、各地の生産拠点の減産が即鹿島地域の企業に影響するだけに、厳しさを度合いは一層増していると言っても過言でない。各企業が雇用調整助成金を受給しての教育を多数実施している状況下では、派遣労働者の職探しは今後更に厳しさが増すものと思う。	
	民間職業紹介業	近隣企業の景気状況から考えても好転するようには思えない。	
	学校就業関係者	悪い状態であると思うが、今月と比較してどうなっているかは予想がつかない。	

		求人開拓員	最近の新聞報道等によれば景気の底を打ったとの記事も目に付くが、当地区においては3か月先に於いても、現状と変わる要素は見出せない状況にある。特に、鹿島臨海コンビナートの企業により毎年実施されている設備等の定期修理（定修）が予算の縮小等により中小企業・孫受け会社等へのしわ寄せも響いており、離職者等による求職活動も今後更に増加することが予測される。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	景気の低迷は一般人の所得を殖やす計画の実施が効果が出る迄しばらくの間続くことを覚悟のうえで懐具合を良くして凌ぐべき時で、各国蘇りの競争に懸かっており、民族は英語でrace, nationと云われ基本的にはその国のやる気スピリットと実態の把握能力次第で日本は恵まれた手本の国になれると思う。
		スーパー	若い人でも働く場所がなく働けないとの声がある。アルバイトの採用の間合せが増加している。
		小売業（書店）	来店回数を減らし、1度の来店で目的の商品だけを購入するというスタンス、その来店時に欲しい商品がない場合、買い控えが増加する。
		衣料品販売店	支出を抑える傾向が止まらずに、限られた客を近隣の競合店同士で取り合うようになると、より値下げを求められるようになる。結果、人件費の面などにしわ寄せが行くことになってしまうので、景気は悪化すると思う。
		割烹料理店	コンビナートが近く、工事関係者が長期で滞在する時期だが、民宿経営者の話によると、例年の半分位しか宿泊してないようだ。
		タクシー運転手	原油価格も少しずつ上昇しているし、ガソリン等も毎週のように少しずつ上昇している。スーパーマーケット等でも商品を値上げするだろう。景気が良くなるとは思えない。
		パチンコ店	商圈全体の稼動をみると、横這い状態が続いているので悪くなることはあっても良くなることはないと思う。
		クリーニング店	会社の休みが増加しているようだ。（アルバイトを認めているところもある）人員削減や工場などの閉鎖を行っている。ボーナスは出ない。個人の大工さんも、仕事はあるが集金できないところもあるので、仕事をやってももらえるかどうか不安である。
		室内装飾業	2、3年で景気回復は困難だと思う。今後何かしらの天地異変が起きない限り景気は上昇しないのではないかと。
企業	企業	製造業（飼料）	飼料価格の値上げが予想され、末端畜産価格はむしろ値下げ傾向なので、数量減少が予想される。
		製造業（化学工業）	定期修理工事に入り、今後も減産が見込まれるため悪くなるのではと思う。
		製造業（化学工業）	今後原材料価格上昇分の転嫁を考慮せざるを得ず、需要動向の不透明さを重ね合わせると、ますます厳しい状況となることも考えられる。
		保険業	昔は景気が悪くなると国県より建設工事が出たのに今は全く出ない。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	消費者の収入や雇用状況が3か月先に改善されることは考えられない。自動車税等の税金支払いのタイミングで、大幅に売上げが減少するというのは、消費者側にお金がないことが想定される。また、万引きの被害も増加しており、雇用が悪化していることも関係している。
		コンビニエンスストア	客の心理動向が非常によくない。ボーナスシーズンになるがその額を見てまた消費が落ちてしまう。
		農産物直売所	経済全体が悪くなっていると思う。農家でも販売単価が安い。
		小売業（薬品店）	異業種の薬品販売参入で、かなり厳しいと思われる。
		観光型ホテル	毎日客や接する人すべて声をそろえて景気の悪さを話にする。また、今後、1年後、2年後と全て縮小する予定しかない現在で、回復する見込みも考えられない。
		理・美容店	今後3か月でどれだけ景気が回復しているか、また、どれだけ景気が悪くなるか全く見当がつかない。
企業	不動産業	雇用で人材派遣の人が職がない人が多く出る。	

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	農産物直売所	客が増加している。
やや良	家計	コンビニエンスストア	価格重視、余分な商品は一切購入しないという購入の仕方が減少してきている。客が価値を認めた商品、自信を持って勧めた商品に対する客の反応は良くなっており、回復の兆しが感じられる。品質、価格、トレンド等、客が価値を認める商品、サービスを提供し続けることで今よりも良い状況になると思う。
		洋食食堂	企業が回復すれば、回り回って良くなる。
		旅行代理店	新型インフルエンザの流行が少しでも落ち着けば受注も増加すると思われる。
	企業	製造業（印刷業）	補正予算等、公共事業が増加することを期待している。
		製造業（窯業・土石製品）	これ以上悪くなるとは思えないが、定額給付金、電気製品のエコポイント、プリウス等の減税などの施策は、一部の人のにとってはうれしい施策だが、大半の人は雇用不安、賃金の裏付けがなければ、生活必需品は購入しても、景気を押し上げるような消費意欲はわかないと思う。
		製造業（非鉄金属）	7月以降の3か月インフォメーション上では、当月比較では、売上げ20%強増加する予定。但し前年比では20%強減少しており、底辺底倍状況にある。メーカーの在庫調整一巡感もあり、10月以降の受注に期待して。
		建設業	受注が15%~20%回復するとのことから、6月に入ってから、見積り依頼が数社などからあり、引合いが増加している。ほとんどの企業の役員が8月頃から底を脱するのではないかと話している。
	雇用	人材派遣業	在庫調整が進んでいる様子があり、生産量の見直しも検討されてきている様子もある。
		求人開拓員	一時の深刻な声は聞かれなくなった。最悪の状況は脱しつつあると感じられる。しかし閉鎖、撤退、倒産する企業もあり、予断を許さない。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			回復の兆しが見えない。現状では良くなる要因も見当たらない。
スーパー			良くはならないと思う。夏のボーナスが支給されてもベースが減少するため消費を控えると思われる。
コンビニエンスストア			変化する情報が見当たらず、動機付けにならない。
家電販売店			エコポイント施策も更に認知されることが考えられ現状の景気が継続すると思われる。
自動車販売店			現在は客の動きが活発だが、景気が良くなったというわけではないと思うので、景気としては変わらないと思う。
農産物直売所			直売所を取り巻く環境はさらに厳しく県南地区に於いてのアウトレットモールの開店やこの夏のボーナスの減少傾向、さらに県内大手の企業のリストラ等悪条件が重なっている。
専門スーパー			可処分所得が目減りしている状況で景気が回復するとは思えないし、良くなる材料がないと思う。
洋食食堂			客の声を聞いても、そうそうこの状況から立ち直るには時間がかかりそうである。
旅行代理店			ピーク期でもあり、様々対策をうっているが、大きく動く(購入)感じがまだない。
タクシー運転手		通院、高齢者など日常的な客からの需要は変わらない。	
タクシー運転手		一般企業が景気回復の兆しが無い以上は、変わらないと思う。	
タクシー運転手		3か月先の景気は変わらないと思う。会社関係がいくらか良くなったと云うが、会社に来る客が以前より少なく、また、居酒屋の客も減少している。	
理・美容店		国内の株価の上昇に期待感などなく、次の選挙への好材料として国民がうまく踊らされているのではないかと。消費したい人々に何か本当の意味での安心を与えなければ、一時的な動向にとどまる。	
建築設計事務所		公共施設の見積りはあるものの、見通しは不透明だ。	
住宅販売会社		この低レベルでの均衡は、まだしばらく続くと思われる。	
企業		製造業（食料品）	つくば地域は外見景気良さそうに見えるが、実質地元への還元は少ない。変化する材料が見当たらない。
		製造業（食料品）	大幅に変化する要素が見当たらない。
		製造業（飲料）	景気低迷している中なので変化はないと思う。
	製造業（一般機械器具）	良くなる要因が見当たらない。	
	建設業（設備工事業）	あまり大きくは変わらないように感じられる。	
	運輸業（倉庫業）	今後、価格を値下げする情報を聞いており、この貨物に関しては動く気配がある。しかし全体的にみると動きが鈍く今月と同様変わらないと思われる。食品関係は、製品、原料ともに好調で景気に左右されていないようだ。	
	金融業	取引先の業況が改善しているとはいえず、資金繰りに苦しんでいる取引先が多い。	
	雇用	求人広告	個人企業の客が多いので、大手企業が元気にならない限り3か月後はまだ見通しつかない。
変わらない	商店街代表者	今後大企業以外の小企業の夏のボーナス支給額が前年より大幅に減額されるだろうから消費は更に停滞だろう。	
	スーパー	競合店との安売り合戦が激化しているため、利益の確保が難しくなっている。	
	スーパー	安売り競争で収益は悪化する。	
	衣料品販売店	客単価減少は今後も続いて行くことを考えると、多少客数が増加してもカバーできない。	

や や 悪 く な っ て い る		ガソリンスタンド	ここに来て原油が上昇し始めている。3か月後は燃料油価格が上昇すると予想される。
		和食食堂	先が見えない。消費者まで政策が伝わらない。
	□□	都市型ホテル	手持ち予約状況で昨年より宴会、受注があまり良くない。企業も、宴会を自粛するところも増加傾向なので、やや悪くなっていると思われる。
		都市型ホテル	6月に入り宴会、レストランともに利用が減少している。7月から先の予約についても例年より動きが悪い。
		タクシー運転手	客の言動や、夜の街の人の数から言ってもまだ、こんなものでは終わらない気がする。
		ゴルフ場	大型コンペの予約、土日曜のプレー予約がいつもより少ない。ただし、前年と比較しての場合だが、先行きに不安を感じる。
		ゴルフ場	直前迄予約が動かないため景気がつかみにくい。あまり良くないということではないか。
		パチンコ店	来店客が、最近4円パチンコから1円または2円コーナーに流れている。
		ゲームセンター	夏休みも終わった頃で、年末までは低迷するだろう。
		農業関係者	景気が改善される要因がない。米も在庫があり米価が低下しそうだとの話が聞こえる。野菜も高価な商品は売れず、初物でもすぐ値が低下しているとのこと。
		製造業（窯業・土石製品）	衆議院選挙を控え政局の不透明感。
	企業	建設業（設備工事業）	見積りは民間が激減、客の動きも悪く、建設業は先が見えない。
		建設業	どの企業も景気の悪化を受け、社員の給与・賞与のカットが少なからずともあるとすれば、当然、無駄な出費は避けると思う。
		不動産業	早急に改善回復する要因が見当たらない、じりじりと悪化傾向が進むと思われる。
雇用	学校就業関係者	今後の求人について企業へ問合せをしても、良い返事がもらえずこの状況は変化しないと思われる。生徒もなかなか就職が決まらず、将来の不安を感じている様子である。	
悪 く な っ て い る	□□	寿司店	メンテナンスの仕事をしている客によると、今年に入って本当に仕事が減少したとのこと。比例して客との外食の機会が減少して来店する回数も大幅に減少した。
		レジャー施設	一般客の減少で景気（収入）は良くない。

(5) 県西地域 【先行き】

(一：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	来年3月末まで政府エコポイント施策が継続されるので売上げ拡大が見込める。今年も昨年同様の暑さが予測されているのでエコポイントの需要と共に期待できる。
やや良	家計	商店街代表者	「薄陽が差してきた」というような記事を見ると気分的にも良くなるような気がするし、そう思いたい。
		寝具販売	時期的な所もあるが県西地区は8月から9月にかけて、梨の生産や稲刈りが始まり、農家は収穫の時期になり少しは良くなる気がする。また、衣料品関係も運動会や秋の遠足シーズンに入り少しは、動き出しがあると思う。
		自動車販売店	ここまで、消費を我慢していた客も沢山いる。現在の動向を踏まえ、少しずつ消費は良くなると思う。
		農産物直売所	電気製品を中心に少し動きがでてきているようなので若干全体的に良くなると思われる。しかし、夏のボーナス等についても厳しい状況なのでそれほど期待はできないと思う。
		和食レストラン、割烹	ニューズレター等の販促を新しく始めるのでその結果が3か月後から出てくるのではないかと期待している。
		ビジネスホテル	業種によっては持ち直しつつある企業があり、各企業の努力に期待する。
		タクシー運転手	経済対策の効果が多少出ると思う。
		タクシー運転手	現在の傾向がやや上向きになっているので今後期待したい。
		農業関係者	不景気（現状）にも慣れが出てきた。また、メディア等でも不景気関連の報道も減少してきている。不景気を口にする人も減少してきており、今後は財布のヒモも緩くなると思われる。また、各メディアでも、国産野菜や農業問題が多く取り上げられ、国産野菜への関心も高まると予想される。
		企業	企業
製造業（窯業・土石製品）	9月は例年、若干忙しくなる時期なので、中国メーカーが納期に間に合わせるができない仕事や、中国メーカーから出るクレームが増加するため、依頼される加工作業や製品製作が増加すると思う。		
不動産業	賃貸、売買いずれの物件も問合せが増加傾向にある。		
変わらない	家計	商店街代表者	客との話で「この景気はあと1年か1年半は続くだろう」との意味の会話が非常に多い。「今は、我慢の時だ」との話がほとんどだ。
		スーパー	従業員の募集状況について、以前は応募者が非常に少ない状態だったが、今回（5/31）求人チラシを投入したところ、今までになく反応が良く、応募者も2倍以上に増加した。小売業に職を求め人達が増加しているため景気がまだ良くなっていない。
		コンビニエンスストア	最近、客もお金がないならなにに買い物するようになっており、現状の状況に対応し始めているように感じるのでこれ以上の悪化は考えにくい。やや良くなって行くことを期待したいが、ボーナスの減少などで、しばらく現状の状態が続くのではないかと。
		コンビニエンスストア	9月頃は夏休みも終わり、季節的には残暑の有無で消費環境も変化すると思われるが、客数が伸長しても単価が増加しない傾向は続き将来に対する不安から消費が拡大することはまだ難しい。
		専門スーパー	先月より変動が見られない。
		ガソリンスタンド	経済の先行き不安より新車に買い替える客が少ない。買い替えたとしてもハイブリット車や軽自動車が多くガソリン増販に結びつかない。
		和食食堂	基本となる売上げの減少傾向はなくなっている。
		和食食堂	毎年9月頃は多少は良いのだが、今年は世間の不況がまだ続くと思われ変わらないと思う。
		都市型ホテル	客の話を聞いているとまだ休みが週に3日、ひどい客だと4日あると聞いているので、この先3か月後も今の状況と変わらないと思う。
		タクシー運転手	客の話で、残業が減少し月収がずいぶん減少したという話を多く聞く。
		タクシー運転手	今年1年は変わらないと思う。
		ゲームセンター	新しい筐体の入荷予定もなく、良くなる要素が見受けられない。
		理・美容店	給与カットが響いてくると思われる。
		理・美容店	相変わらず不景気のニュースは流れてはいるが、一定の落ち着きを保っているため、しばらくはこんな感じではないかと思う。
住宅販売会社	今年度前半はこのまま推移すると思われる。		
企業	企業	農業関係者	9月から新米、梨のイベントを計画。客に魅力を持たせる工夫をどのように実施していくか。残暑対策も大切だ。
		製造業（印刷・同関連業）	定額給付金や、地域振興券の発行など、国（政府）や地方自治体で、景気浮揚策を打ち出しているの、消費も活発になることを期待している。しかし、現実を考えると、厳しい状況を抜け出すには、まだまだ時間が歳月がかかりそうだ。
		製造業（化学工業）	半導体関連では昨年末から年初にかけての最悪の状況は脱したものの、今後の見通しについては顧客の判断も分かれている。一部顧客では受注にもややプレーキがかかり始めているが、現状と変わらないとみる見方が優勢。携帯関連では国内、海外とも好調を維持しているが、車載関連は特定車種以外は低迷。
		製造業（窯業・土石製品）	1年位はこのような状態が続きそうだ。
		製造業（金属製品）	3か月先に変化が表れる要因がない。
製造業（電気機械器具）	現在の状況が今後も継続するかどうかの判断が誰もつかない状況にある。		

	運輸業（道路貨物運送業）	ニュースで自動車メーカーが動き出したようだが我々にはまだ下りてこないように思われる。	
	金融業	東証平均株価が一万円台を回復するも、先物市場に於いてまた原油価格が上昇をはじめ今後に対する不安も見え隠れし、先行き不安から設備投資等にも停滞ムードが漂っている。	
	雇用	人材派遣業	どこの会社へ行っても悪い話ばかりだ。
	求人広告	物流関係は仕事が減少し、飲食関係は単価が低下し、美容室等はサイクルが長期化している。良くも悪くも、現状に慣れが出ている。	
やや悪くなっている	□計	公共職業安定所	景気の先行きが不透明であり、休業を行っている事業所からも受注が増加するかはわからないとの回答が多い。
		就職相談員	景気好転の様子が見られない。
		旅行代理店	良くなる見通しがなく自治体での対策が必要だ。このまま旅行券が売れなければ、会社を辞めるしかない。夏商戦のダイレクトメールを止め、一度行ってくれた客を回ることにした。
		ドライブイン	今の経済状況が回復すると思えない。さらに夏休み後のため出費を控える傾向があると思う。
悪くなっている	企業	ドライブイン	夏のボーナスの減額予想等個人所得の減少が実感視される時期であり、購買意欲も減少(節約) すると思われる。また、ガソリン価格が徐々にではあるが上昇してきているのも気掛りである。
		ゴルフ場	来場結果等から今後も変わらないと思う。
		製造業（食料品）	節約が大切と思うようになってきている。
		製造業（印刷・同関連業）	新規の受注がほとんどなく、官公庁・自治体の仕事の値崩れが続いている。
悪くなっている	雇用	建設業	総選挙が終わり政界が安定しないと良くはならない気がする。前倒しはされているが、その後が不安。
		サービス業（コンサルト業）	悪化している現状で、さらにそれらに関係する業界にも波及している。例えば運送業界は製造業者が生産しないので運搬する荷物が少ないというのが現状だ。
		学校就業関係者	求人票の受付期間であるが、企業からの問合せが少ないと感じる。昨年9月、10月のような好調な雰囲気はなく、新規採用を手控えている感じがする。企業活動が低迷して、景気はやや悪くなっていると考える。
		スーパー	やはり企業業績が上がらない限り、個人消費も上がらない。今の調子では一時的に政府の緊急対策は効果は多少があると思うが、企業業績が悪化した場合はすぐに元に戻ってしまうだろう。景気は秋口以降も良くならないのではないか。理由としてはやはりアメリカの経済が悪化の傾向だと判断するから、多少の悲観論もあるが。
悪くなっている	□計	ゴルフ場	景気回復の兆しが見えず、また、新型インフルエンザの影響が怖い。大型コンペの中止等極力人の多い場所への外出を控えろと思われ、集客に響いてくるのではないかと。
		レジャー施設	雇用の不安定。
		クリーニング店	衣替え時期が過ぎるため。
		建築設計事務所	工務店の仕事の受注件数はかなり落ち込んでおり、これから先の引合いの話も少ない様子。それに伴い設計事務所の仕事の受注件数もかなり落ち込んでいる。景気回復の展望は全くない。
悪くなっている	企業	製造業（一般機械器具）	これより悪くなることはないが仕事がない。

### Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

#### (1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	特売品だけ購入する顧客が増加している。
	スーパー	外食産業の落ち込みが多いと聞く。商業施設からの撤退が見られ空スペースが多い。(フードコートなど)
	コンビニエンスストア	飲料の購入が減少し、水筒(マイボトル)の持参比率が高まっている。ETC週末割引を活用しての外出がゴールデンウィークは多かったが最近ほとんどない。
	コンビニエンスストア	昨今の社会環境などで「安心」や「安全」に対する消費者の意識がより強くなっているように感じる。
	衣料品販売店	4月に定額給付金が銀行に振り込まれたが、消費する動きは見られない。
	金物・荒物・建築資材	家電品関連の会社からは、多少注文が増加したと思う。
	ガソリンスタンド	販売業がつぶれたり店じまいしている。
	小売業(酒類)	景気が悪く、飲食店に影響が大きい。今年に入って5月が一番悪いという話だ。
	小売業(水産物)	人事採用時、今まで来なかった大学生や30~40代の男女が副業や家計の手助けとして応募してくることが多い。
	和食食堂	この4月から近隣の大手企業が4勤3休になり1週間の客足が読めない。ドラッグストアが開店したらしばらく無休で営業しようかと考えている。
	観光型ホテル	求職者の数は多く、失業者が多いことが感じられる。
	観光型ホテル	全国的な不況のせいか、我々サービス業は非常に厳しい。
	観光型ホテル	新型インフルエンザについては現在大きな影響が出ていないが、これから冬に向けて流行した場合には、かなりの損失が出るのではないかと懸念している。
	旅行代理店	新型インフルエンザ関係で特に海外旅行客が増加しない。
	タクシー運転手	選挙後の結果に期待したい。
	タクシー運転手	地元企業のボーナスが6月10日に支給されたそうだが、約10%程減少しているとのことだ。これにより、タクシーの利用はあまりよくないことが予想される。
	ドライブイン	業種によっては週半分のみ稼働という事業所もまだ多い。皆、不安の種は後をたたない。今が働き盛りなのにと人が多い。
	ゴルフ場	不況の影響でわくわくするような話題が身の回りに少ないせいか、シニア層には活気を感じるが40~50代の人に活力を感じない。
	ゴルフ場	商品であるコースの整備状況で少しずつ顧客の評価を高めている状況にある。また、顧客の喜ばれるサービス、元気一声を心掛けるなどの努力をしている。
	レジャー施設	お金を使わなくなっている。
ゴルフ場	最近の傾向として、インターネット予約者の直前予約、キャンセル等が顕著に増加しており顧客のプレー代へのシビアな反応がうかがえる。	
理・美容店	近所に大型スーパーマーケットが開店した。連日、道路が混雑し、ガードマンが整理する程の来客数である。隣接する小売店が心配である。	
住宅販売会社	エコポイントの影響で一部家電業界は持ち直しているという話を聞くが、住宅業界は依然厳しい。	
企業	林業関係者	森林資源の徹底した活用による林業・木材産業の再生に期待したい。
	水産業関係者	本年、冷凍業者が自己都合により廃業した。個人事業者の廃業は簡単だが、当方としては大きな打撃となった。当地の水産界にあっても、地元水揚げが縮小し、不景気の大きな要因となるおそれがあり今後の対策を検討中だ。
	製造業(精密機器)	ボーナスが微減というレベルで企業が持ち直せるのか疑問だ。
	製造業(製缶)	地元の大企業の取引先は重電関係であるので現在は作業量の減少はないが、半年~1年後の作業量の減少に不安がある。
	製造業(一般機械器具)	小売店の客単価下落を感じる。チェーン店が店舗毎に独自性を打ち出すなど良い傾向もある。新型インフルエンザの状況次第だが、半年以上先は不透明だと思う。
	製造業(電気機械器具)	社内での付加価値を高める手段として、内製化を進めている。
	製造業(電気機械器具)	高速道路料金ETC休日割引により、県北を目的地にしていた旅行者が、更に北に目的地を求めているために宿泊者数が減少している。
	製造業(電気機械器具)	週休3日以上企業が多い。雇用調整助成金の申請件数が相当多いと聞いた。
	製造業(電気機械器具)	ここにきて廃業・事業縮小・自己都合などの理由で、商工会からの脱退会員が増加してきた。
	製造業(電気機械器具)	街に人出がなく活気がないように見える。

製造業（輸送用機械器具）	身の周りでは、次に車を買う場合はやっぱりハイブリット車だよねという声が大きくなってきている。各社共にハイブリット搭載車の拡大計画も発表されているので、買え替え意欲が増すことに期待したい。	
運輸業	輸入貨物の量が工場出荷物量より増加していると思う。	
情報通信業（情報サービス業）	一般競争入札に、多くの企業が集まってくる。価格競争が厳しく企業はますます厳しい状況である。	
金融業	革新的な技術を扱う業種については、一部回復が見られるが、既存業務内容を行う業種については受注減少傾向にある。	
不動産業	ETCの割引等により個人消費の内、小金額なものについては多くなってきているように感じる。しかし、ETCの相変わらずの品薄や、新型インフルエンザの風評によるマスクの品薄など社会混乱が目についた。行政側でのきめの細かいコントロールが必要と感ずる。	
雇用	運輸附帯サービス業	ハローワークに頼らなくても、リクルートが容易な状況となっている。従来と比較すれば、高い技術力、人間性（いわゆる人材）を集めやすい。業務拡大には今がチャンスと思い、当社は積極的に対応している。
	求人広告	職を探す人の増加、広告掲載時の反響の多さ、1件に20人程だ。
	就職相談員	全従業員の25%をリストラして、企業としてスリムになったが、残った人員で仕事をしているため、負荷が多くて皆疲れきっている。（製造業）

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	取引先の保育園の入園申込みが例年になく多いと聞く。不況の影響で子供を預けて働く母親が増加していることが原因とのこと。また、身近にも本業以外に職を得る「副業」の話題がでるようになった。
	商店街代表者	地元商店会で5月1日にプレミアム商品券を発売したところ10日間で完売した。完売後も商品券を購入するために来店する客がいる。消費者は1円でも安く、少しでも安価に商品を買ってもらえるよう努力している。県でも景気対策としてプレミアム商品券の発売に対する助成を検討したらどうかと思う。プレミアム商品券事業ではいくつかの問題点はあったものの購買力をあおる景気対策には即効性がある。
	百貨店、総合スーパー	ギフト品（贈答品）の単価が低下した。
	スーパー	同じ食料品を購入するならレジ袋が貰えるドラッグストアへ行くと言う客が多数いる。レジ袋にお金を払うのはかなり抵抗があるらしい。タバコのタスポ（成人識別ICカード）もそうだが、ドラッグストア、コンビニエンスストアに比べ、スーパーマーケットはかなり不利になっていると思う。
	スーパー	求人募集が減少しており、他企業も厳しいように思う。
	スーパー	エコポイントの影響で関連商品の売上げ上昇。ポイントデー、割引デーを上手に利用し、まとめ買いされる傾向がある。
	家電販売店	どうしても必要な食品は購入するが我慢出来るものは無理して購入しない人が多い。
	自動車販売店	消費者は商品に対して魅力があり良いと判断すれば購入する。いかにニーズに合う商品を買わせるか消費者目線でサービスできればまだまだ日本の市場は活性化すると思う。
	農産物直売所	中元ギフトのメロン、最も価格の高い2Lサイズより価格の安い3Lサイズ、4Lサイズを選ぶ人が増加した。
	専門スーパー	消耗品などに関しても、価格が安ければ買い置きしていたが、現在は、安くても必要な分だけ使うだけの購入になっている。
	レストラン	企業の低迷による接待、会合などが著しく低迷している。
	レストラン	全体的に外食は以前より減っているが何らかのイベントの時は（お祝等）外食をする様な話を聞く。本当に必要な事や物に対しては消費意欲があると思う。
	割烹料理店	ここ数年小さな町にも大手スーパーやチェーン店が侵入してきて個人商店はますます追い詰められているように思う。町商工会加入店の閉店が増加してきている。
	都市型ホテル	実際にある動きではないが、今冬の新型インフルエンザ拡大になれば、経済・社会生活に大きな打撃になることが懸念される。
	都市型ホテル	大型のスーパーの営業が終了するなど、休日の人出が更に悪くなった気がする。
	観光型ホテル	若年層だけでなく、可処分所得の多いシニア層も消費を抑える傾向がみられる。先行きの景況など、不安材料が多すぎるのでは。
	旅行代理店	今回の新型インフルエンザが与えた影響は、観光業界に想像以上のダメージを与え、回復するには時間と労力が必要になっている。
	タクシー運転手	最近閉店が目立ちテナント募集が多い。
	ドライブイン	海外からの客が今年は少ない。
	ゴルフ場	現在徐々にではあるがゴルフ等の価格が高騰傾向にあり、営業に影響が出ないか懸念される。また、5月末のトーナメント開催時に新型インフルエンザの話題が取りざたされ、ギャラリーにマスクの配布が検討された。※ 配布はしなかった。
	パチンコ店	同業の閉鎖により自社や競合他社の売上向上は見えたが、一部の地域だけの話である。
	パチンコ店	サービス業、物販業等を見ると、店舗閉鎖をしている店も多く見られる反面新規出店をする店も少しずつ見受けられ、自店他店を見ても客数の大幅な減少はなくなってきたので急に良くなるとは思えないが当面変わらずに推移すると思う。
	レジャー施設	北関東自動車道開通により、栃木県から来場者増を期待したが、結果としては、栃木県からの来場者は増加したが、逆に県内の来場者が減少したためトータルではあまり変化がなかった。
理・美容店	女性でも1000円カットを利用している人が増えている。	
理・美容店	近くの貸駐車場も空きが出てきた。	
建築設計事務所	学校、保育園の耐震診断、耐震補強の構造設計業務が公共委託事業の大半を占めている。	
住宅販売会社	カーディーラーなどでは、エコカー減税による影響で来店数が増加しているという話を聞く。	
製造業(食料品)	個人商店が1件、健康上の理由で閉店した。	
製造業(食料品)	高速土日割引で観光施設は潤っていると考じます。その様な施設にオリジナル商品のプランを立て、販促に結び付けて行けば活性化につながるのではないかと。今回海浜公園オリジナル開発商品を50日間で15,000ヶ程販売。	
製造業(印刷・同関連業)	当社で数年前に危険取引先にあげていたところがついに倒産した。やはり情報が大事だと感じた。	
製造業(窯業・土石製品)	政府の政策によりエコ家電やエコカーなどの販売は良いようだが、それ以外の商品については買い控えが顕著であると思う。	

企業	製造業(金属製品)	中小企業緊急雇用安定助成金を申請し、生産調整をしている事業所が見受けられる。赤字受注をせず、この不況を乗り切るための一つの対応策だと思う。
	製造業(一般機械器具)	株が上昇しガソリンも上昇。製造業はしばらくだめだろう。商店の人達もぼやきのみ。タクシー運転手は良い時の1/3とか。
	製造業(精密機械器具)	会社創立以来、幾たびの不況を経験し、会社を経営環境に合わせ、それらを乗り越えてきた。しかし、今回の不況ほど即、会社経営に大きな影響を及ぼした不況は初めての経験だ。今は、一時帰休継続、更なる経費削減、耐えてきた人員削減など、対策を検討中だ。
	運輸業(道路貨物運送業)	ガソリン価格の上昇は急であるが、軽油の価格の上昇は緩やかである。
	情報通信業(情報サービス業)	若者の、欲しいものは若干値が張っても手に入れたいとの購買意欲は、景気の良し悪しにはあまり影響を受けないと思っていた。しかし、近頃の日常会話様子では、欲しいものを購入するにあたっては、価格次第と考える割合が高くなっているようだ。やはり、昨今は、若者の世界においても、景況感と将来への不安は購買意欲に勝るようだ。
	金融業	駅前を中心に飲食店(たい焼き屋・たこ焼き屋)や、衣料品販売の出店が多くみられる。商店街店主の高齢化が顕著。飲酒運転に関する規制が厳しくなり、飲食業(飲み屋)の業況が更に悪化。
	サービス業(コンサルタント業)	特に、身近な観光地において交通量が増加しているように感じる。昨年高騰したガソリン価格が今年は落ち着いていることや、3か月前から実施されている高速道路料金の割引サービスが好影響を与えていると思われる。
雇用	求人広告	ETCの1000円により、ホテル等の売上げが減少してるとのこと。高速道路や新設道路が出来た(出来る)事により売上げが落ちる様子がうかがえる。
	学校就業関係者	高速道路週末割引制度、温暖化防止エコ電気商品の割引ポイント制度など、消費行動を誘う制度をあれこれ打出されているが子供だましに近い稚拙な政策であることを消費者は気づいているので財布のヒモはますます固くなるだろう。
	就職相談員	4月5月の来所者(延べ人数)を見ると中高年(34歳以上)が昨年対比211%と大幅に増加している。なかなか採用に至らないように思われる。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	最近になって、市の行政担当が地域起こしに熱心に取り組む姿勢が見えてきており、大変結構なことでは嬉しい限りだ。
	商店街代表者	大型衣料専門店の開業、大型家具店の出店計画等出店意欲が強く既存店舗間の競争が厳しくなるとともに、従来の商店街はますます客足が遠のくと思われる。
	商店街代表者	プレミアムを付けた戦略が増加しているように感じる。学校洋品を販売しているが、2枚購入する所、1枚にする、また、おさがりで我慢する。周辺でも来客が減少しているようにかがえる。
	スーパー	レジ袋無料が廃止になり、有料になったら来店客数が減少するのではと心配。さらに、売上げ点数も減少するのではないかと。
	スーパー	安い商品だけを購入し、それ以外は、全く購入しない人が多い。ショッピングセンターの中の空きテナントが増加している。
	コンビニエンスストア	鹿島コンビナートの定期修理がスタートしているが、例年と比較して、規模が小さいのか、宿や旅館、マンスリーマンションに宿泊している作業員数が非常に少ない。作業員客はコンビニエンスストアのヘビーユーザーが多いので、売上げに大きな影響が出ている。
	コンビニエンスストア	節約する人が多く、安い商品しか売れない状況だ。
	小売業（菓子販売店）	店閉まいの商店が多くなってきている。
	小売業（金物店）	聞いた話によれば、ロシアのガスデン開発に使うパイプの受注がくれば鉄鋼メーカーも景気が良くなると思う。
	小売業（書店）	中高年層の求人が目に見えて増加している。
	そば処	先の見通しが立たないために財布のヒモが固まっているように思える。
	洋食食堂	不景気や、新型インフルエンザ等の影響で来店回数が増えているのかと思うが、外的な要因ではなく価値を客に提供できれば、道は開かれると思う。
	割烹料理店	商売柄、客は多種多様だが、皆本当に必死でやっている。その一方で新築の家が増加してきた気がする。
	日本料理店	閉店するのは個人店、出店するのは低価格にチェーン店。まだまだニーズは低価格での争いが続いているようだ。
	観光型ホテル	スポーツ施設を利用しての宿泊者は少し増加している。
	観光型ホテル	景気の悪いこの時代に、やっと消費者が慣れてきた感じがする。
	タクシー運転手	飲食店をはじめ、いろいろな業種であきらめムードがあるようだが、何か（いいムード）が出てくれば少しづつでも回復あるいは落ち込みの度合いが少なくなるような気がする。消費者は今は使えないだけで、使えるものは持っていると思う。
	ドライブイン	不況の影響に加え、新型インフルエンザの社会的影響がどの程度影響するか不安である。また、原油価格も上昇傾向にあるため消費者の動向を見極めたい。
	理・美容店	企業などで大幅なリストラや、減給などの話をよく耳にする。企業や商業などもっと元気がなければ、この景気は良くならないと思う。
	理・美容店	エコポイントの効果で家電は売れて、外食が減っているようだ。安い商品に消費の対象が向かっているようだ。なぜか土・日の来客数が減少した。
クリーニング店	近くの縫製会社は、定時（5時）まで仕事がなく、3時半または4時で仕事が終わっている。病院やホテルのカーテンが主だが、減少しているようだ。海外の輸出も減少している。個人は収入が減少しているので、外食を控えている。葬儀屋でさえ集金できないところもあるらしい。	
住宅販売会社	生活が苦しくかなりの節約をしている話を耳にする。	
企業	農業関係者	定額給付金が支給されたが、とりあえず貯金した。毎月の食品の購入については、価格が優先になっている。お買い得品中心で済ませているので、懐はさほど痛まない。「賢い消費者」が増加しているように思えるため、企業は苦しむだろう。
	製造業（食料品）	相対的にどの業界も不景気感漂い、消費の動向がつかめない。多少値下がり商品があるが、値上がり幅に比べまだまだである。
	製造業（食料品）	企業の方向転換・改善が進められ雇用も増加しているように見え、客数もやや戻りつつあるように感じる。
	製造業（化学工業）	燃油サーチャージも安くなり、周囲で旅行に出かける人が目立つ。景気回復につながっているのではと思う。
	製造業（化学工業）	不要不急費用の削減、先延ばし等、あらゆる努力を重ねるも、原料高、製品安構造の前には、自助努力もほとんど効果のでない状況だ。
	製造業（鉄鋼業）	ショッピングモールや大型量販店に出向くと人が少ないと感じる。消費が落ち込んでいるのかと思う。
	建設業	鹿嶋市大野地区の市街化調整区域指定のため、これから先も住宅は建たない。

	運輸業（道路貨物運送業）	食品関係の売上げは良いのではないかと感じている。原材料も多めに取り揃える傾向にあり、生活必需品として、大きいと感じている。今回の新型インフルエンザの件で卸し先で体温測定が多く運転手は大変である。
	金融業	比較的規模の大きい企業は、資金的余裕が見られるが、零細小規模事業者の資金繰りはまだまだ厳しい状態にあり、小口資金の相談が多い。
	保険業	ゴルフシーズン到来で低料金のゴルフ場は平日一杯入っている。（乗用カート、セルフ、食事付7900円）
	不動産業	一般に銀行の貸し渋りが目立つ。特に住宅ローンの融資が厳しさを増している。景気が良いのは、ほんの一握りだけである。
	サービス業	年度が明けてから、一段と景気が低迷したように感じる。高速道路下の車両通行量（トラックを中心とする業務用車両）が減少しているように感じる。
雇用	民間職業紹介業	求職者も年配の方が圧倒的に多いため、企業とのマッチングが難しい。
	求人開拓員	鹿島臨海工業団地内の企業・事業所等へ求人開拓に出向くも昨年の後半以降、極端に減少しているが、現在では、企業訪問しても、求人に関する用件の場合、守衛等に門前払いされ、担当者とは面談すらできない状況が続いている。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大手企業はますます海外生産が進み国内の多くの下請け企業は絶対的に仕事量も減少し、正社員数を増やす事も少ないだろうから購買意欲は伸びないだろう。早く光明が来ることを願いたい。
	スーパー	近隣のファミリーレストランが閉店したり、居酒屋でも人員削減を行っているなど外食産業は厳しい状況のようだ。
	スーパー	プライベートブランド商品の売上げが良い。
	スーパー	求人を出していないのに、従業員を募集していないかの問合せが多い。
	衣料品販売店	毎月、3週目（給料日前）の売上げが前年比で大幅に減少している。
	自動車販売店	支払いに対してクレジットローンの割合が減少している。経費削減に会社自体が力をいれている。
	農産物直売所	スーパーと比べて低価格で良い商品に客の目が行く。
	専門スーパー	近隣に大型ショッピングセンターが開店したが、このようなイベントには多くの消費者が集まり購買力も高い。お金がないのではなく、先行き不安での生活防衛の意識はとても強くなっていると思う。政治には頼れないので、自分の生活を守るのは自分しかないという考えだ。
	ガソリンスタンド	高速道路のETC割引が開始されETCの売上げと高速道路のガソリンスタンドの土・日・祝日の売上げが前年比200%の伸びのガソリンスタンドもある。（全国平均で120%）
	洋食食堂	大型店の出店により一時的にスーパーなどは不安定になっているようだ。しかし日曜日の駐車場に入るまで2時間待ちというのには驚いた。集客力はさすがである。
	洋食食堂	テナントを貸している70代の夫婦が、焼肉屋に貸しているが、テナント料の値下げを相談され、借りてくれるだけでありがたいので、すぐ了解したとのこと。税金が重いと言っていたとのことだ。
	寿司店	新聞のチラシの量が今年に入って枚数が増加した。また、デパートの催会場担当者や外商担当者が電話で営業してくるなど今までにない商法に少し驚くことがある。
	都市型ホテル	5月下旬に新しい商業施設がオープンして近隣の商業施設と同一ショップが多いのと、飽和状態となりそうだという意見を周りからよく聞く。潰れてしまう店舗も、営業で廻ると良く見かけ、また、7月にも近隣にオープンするがまた、懸念される。
	タクシー運転手	サービス業、運輸なども厳しい状況であるが、その前に飲食業の閉店が目立つ。
	タクシー運転手	夜のお店からの需要が減少した。飲み歩いている人が減少している。
	タクシー運転手	最近駅前タクシーにおいて、駅前に自家用車の迎え車が増加し、以前まではタクシーで帰宅していた客もだんだん余計な出費をしなくなった。
	ゴルフ場	来場する客が、先行き不安の話をしていることが多いが、一部、景気に左右されない業種があるようにも思える（郵便業界など）ので景気判断が難しい。
	ゴルフ場	先行予約が減少してきている。特別料金設定日に予約が集中し他は動きが遅い。少しでも料金の安い所を探している感じがする。
	ゲームセンター	平日の昼間、飲食店も席に空が増加している感じがする。
	理・美容店	個人的な意見だが国が規則を作らなくてはいけないことの1つにインフラの整備が最重要課題であり、インターネットや、携帯電話の規制を国や市が働きかけるべき、すべてはこれが広まって犯罪や悪いことが始まった。
建築設計事務所	相変わらず、良い話は聞こえてこない。	
住宅販売会社	金融機関の借入審査が厳しくなっている。住宅を建築したくてもローンが組めず断念するケースが増加している。	
企業	農業関係者	保険の料金が支払えないと掛捨ての保険を検討している人が多いとの話をよく聞く。
	製造業（食料品）	研究学園駅前にイーアスつくばが開店して半年余りで10km離れた土浦市にイオン系の大型スーパーが開店し近隣の商店の来客が少ないことが気になる。
	製造業（印刷業）	業種によって、上向き・横這い・下向きとはっきりしてきたと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	毎日車で石岡から土浦へ神立工業団地を通過して通勤しているが、ここ半年間以上朝の渋滞が随分緩和された気がする。工業団地をはじめ周辺の大工場の操業が落ちている影響と感じられる。また、工業団地から6号国道合流時の渋滞が一時より半減しているように感じられる。企業は在庫調整で減少させた分の生産は、戻すと思うが、それ以上の生産は需要が確かであればCFの面からみても行わないと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	大手ショッピングセンターの開店等はあるが、全体のパイは縮小しているように感じられる。
	建設業	不動産業者、県南の大手2～3社の支店長、社長クラスからの情報・取引の動きとして競売の物件が少々動いている（安く買っている）が通常の売買は本当に少ないとこぼしているようだ。土地の売買は、月に数件だが、アパート、マンションの更新などでかろうじてやりくりをしている状況のようだ。
	建設業（設備工事業）	新聞紙上でエコの話題があり、オール電化及び地上デジタル放送の設備改修で仕事量は増加するが景気は変わらないと思う。
	建設業	予算の前倒しにより工事量が増加すると聞いているが、実感することができない。この文章を書いていること自体腹立たしく思える。

	金融業	土浦市内に大型ショッピングセンターがオープンし、衣料品、食料品関係等の業種に対しての影響も、徐々にではあるがでてきているようである。
	不動産業	成約数の要因のうちインターネットによる初期集客のウェイトが増加している。特に携帯モバイルによるQ・Rコードからのアクセスが増加してきている。ペーパーベースの媒体からI・Tベースへ広告費をシフトしている。求職者（応募）が直近多くなり人材登用と教育により他社との差別化を計るチャンスと見ている。
雇用	人材派遣業	特に前回からあまり変わらず、人員見直しは止まっていない様子だ。
	求人広告	茨城空港や道路の便利により、心配の声がある。北関東の完成でも、影響があったようだ。
	学校就業関係者	製造業の友人の話を見ると、連続休業の会社や週休4日となった会社など、不況が身近な問題と感じられる。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	近隣のスーパーが「1円でも安く」とチラシ広告を毎週出している。大手スーパーなどで少しでも安い商品をとの思考がますます強くなり、チラシ広告が入った日は、大変混んでいて、安い商品を必要な分だけしか購入して行かないようだ。高齢者1人での(男も)買物も目立つ。
	商店街代表者	笑得大使(しょうとくたいし)というクーポン券を行政で発行し、それを利用する客はいるが、はたしてそれが起爆剤になっているのかどうかは疑問だ。
	寝具販売	最近、コンビニエンスストアの閉店や、食堂、レストランの閉店が少し目立ってきている気がする。道路を走っていても、この貸店舗の看板、前に何かあったんだっけなどと話が多く聞かれる。また客の商品に対する価値観も変わってきている。以前は、良い物を永く大切にの考えの人が多かったが、今の人は安ければ品質にこだわらないようだ。
	スーパー	最近の客は広告チラシをよく見ている。特に安くても価値のない商品は購入しない。ただ安いだけでは、今の客は大きくは動かない。従って売る側が相当頭を使って対応しないと予算の数字は達成できない。
	コンビニエンスストア	価格の安い商品に敏感に反応している。(セールのパン、値段の下がった生活用品など) アルバイトの募集が増加している。
	コンビニエンスストア	カウンター商品(フライドチキン)の販売が好調を維持している。主婦層の買物に要する時間(滞店時間)が長くなっているように感じる。良い商品を厳選し買物をしたいという心理があるのではないか。
	家電販売店	株価の上昇により景気は回復傾向だ。ETCの取扱いをしていたが、現在メーカー在庫切れ入荷未定の状況。政府施策高速道路1000円均一の影響が強い。
	自動車販売店	優遇税制の対策により、来店客が、相当数増加している。現在はいいのだが、この対策なきあとが、とても心配だ。
	ガソリンスタンド	以前は「おつきあい」で入れてもらえた燃料添加剤などを拒否する客が増加した(本当に必要な商品しか購入しない)。
	和食食堂	政府が打ち出した景気対策への反応がTV等で放送されているが、当地方へはズレているか影響がないように思える。
	和食食堂	地元では、「定額給付金」で地元を楽しもうというキャンペーンをしている。少しでも、その効果が表れることを願っている。
	和食レストラン、割烹	高速道路の値下げに関して各地方都市のレジャー産業等は売上げ増加につながっているようだが一方でフェリーなどの業界は打撃を受けているので「片寄り傾向」にあると感じている。
	旅行代理店	お金が動かない。安い商品は購入するが(必要な生活品だけ)アナログTVを買い替えたいが、来年まで待つ。
	ビジネスホテル	県南地区のマンションや宅地造成等不動産の売買が低調。今後も今まで以上に不安定さがあり心配だ。
	タクシー運転手	都内に通勤している社員の帰宅時間が、以前より早くなったように感じる。夜の8時~9時に帰宅が増加し、10時以降の帰宅者が減少した。
	タクシー運転手	日中は乗客がいるが 夜の繁華街は閑散としているため仕事量が非常に少ない。
	タクシー運転手	工場の規模、縮小等から景気悪化が見られるが、その反面工場によっては増築して伸ばしている工場もある。
	ドライブイン	ETC料金1000円で高速道路利用が増加したためサービスエリアや料金所付近の施設は売上げが伸びたと聞いているが、当施設は高速付近ではないため、さほど影響がなかった。
	ドライブイン	駐車場に不法投棄される粗大ゴミの量が増加して困っている。処理料金を浮かせるためと思われる。トイレからトイレトーパーを持ち去る人が頻繁にいるため、困っている。自宅に持ち帰って使うものと思われる。
	ゴルフ場	社員募集の際は多くの応募がある、目に付くのは元派遣登録者の応募が多いことだ。
ゲームセンター	週末(土日)の交通量が多いように感じられる。	
レジャー施設	無駄な出費を控えている感じが伝わってくる。	
理・美容店	不景気に変わりはないが今の落ち込んだ状態で停滞しているようだ。	
建築設計事務所	現状の景気の中、高齢者は元気だ。	
	農業関係者	会社のリストラにあい、ハローワークに通っている話が多くみられる。工場関係に聞くと月、火、水、木の4日間働き、金、土、日が休み。今までの給料が半減となっている。今後消費の冷え込みが懸念されてきている。
	製造業(食料品)	ガソリンの価格が以前より上昇している。
	製造業(食料品)	飲食店の売上げが伸びない。
	製造業(印刷・同関連業)	先月(5月)一杯で、地元で人気があり便利だったスーパーが店を閉めた。若い人は車でどこへでも行けるが、高齢者には困った出来事だと思う。コンビニエンスストア・商店も含め、相変わらず、開店より閉店が多い地方の現実だ。官と民の給与の格差が週日新聞に出ていたが、すべてに格差社会になったものだ。負け組がどう生きていくか考えさせられる。犯罪が増加しなければ良いが。

企業	製造業（印刷・同関連業）	パートの募集をハローワークに申し込んだところ即日8名ほどの募集があった。外国人労働者、女性、高齢者がほとんど。1日で募集を止めた。今までにこんな経験はない。雇用情勢がかなり厳しいのではないかと。
	製造業（窯業・土石製品）	毎日ハローワークより加工経験者からの求職への電話があるが、受注が少ないので優秀な人にもかかわらず残念だが採用することができないのが痛恨の極みだ。仕事の繁忙と求人（社員の採用）への思いが一致しない現実を実感している。
	製造業（金属製品）	『壊滅的!』と表現する企業も現れている。
	建設業	地元のスーパーが撤退し、日常生活に不便をきたしている。
	金融業	近隣市町村に於いて大型ショッピングセンターのオープンが続き、一般小売店の売上げに大きな影響が見える。
	不動産業	住宅ローンの審査で承認されないケースが増加してきている。
	サービス業（コンサルタント業）	周りの人達に遊んでいる人が非常に多い。好きで遊んでいるのではなく勤務する会社で仕事がなく週休3日等になっているため、この危機的状況を一日でも早く打開できるような政策をお願いしたい。
雇用	人材派遣業	住宅関係で少し明るい話も聞くことがあるが、まだ先のことのように。
	求人広告	企業での掲載費用の決算が以前よりも長くなる。また、以前は予算内で申込みがあったが、予算がなく1件から稟議の提出する企業が多く見受けられる。
	学校就業関係者	私の所属では、施設外においても、離転職者に対する職業訓練を行っているが、入学選考試験に、定員20名のところ、2～3倍の受験生が集まる。今年度は、同様の職業訓練を何回か行う予定であるが、この傾向は続くと思われる。